

## 第2章 安全安心のまちづくり (セーフコミュニティ)

### 2-1 セーフコミュニティの取り組み

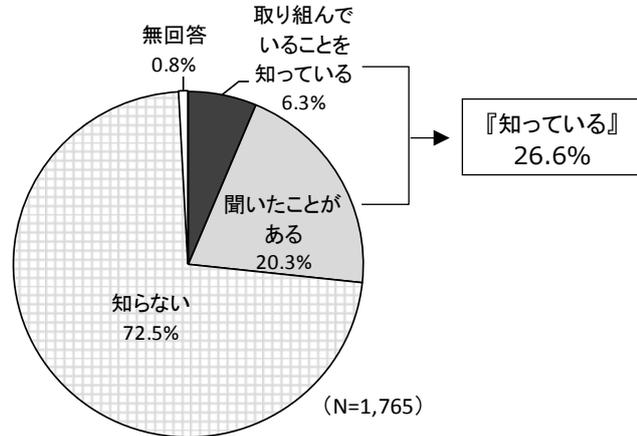
#### (1) セーフコミュニティの取り組みの認知

問12 あなたは、久留米市が、セーフコミュニティ※国際認証を取得して「安全安心のまちづくり」に取り組んでいることを知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

※「セーフコミュニティ」とは……

WHO(世界保健機関)が推奨する国際認証で、「けがや事故の予防」に重点を置き、地域社会で進める安全安心なまちづくりの取り組みや、それを行う地域のことです。

久留米市は平成25年12月21日にセーフコミュニティ国際認証を取得しました。



●久留米市がセーフコミュニティ国際認証を取得して「安全安心のまちづくり」に取り組んでいることを知っている人は26.6%。

#### ◆属性別特徴

【年齢別】年齢が上がるほど『知っている』が高くなる傾向にある。

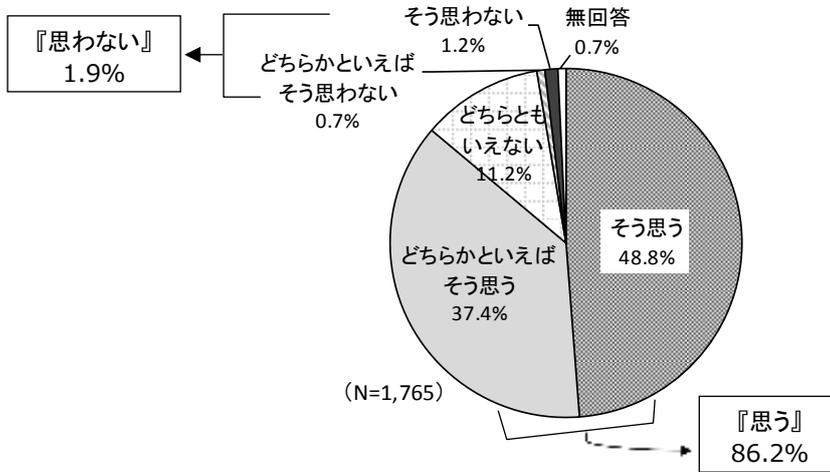
【ブロック別】東部A、西部Aでは『知っている』が3割を超えている。

【自治会加入状況別】加入世帯は『知っている』が28.4%で未加入世帯より6.1ポイント高い。

	標本数 (票)	安全安心のまちづくりへの取り組みの認知 (%)				
		知っている 割合	聞いた ことがある 割合	知らない 割合	無 回答 割合	『知 いつ るて 』 割合
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	6.3 (112)	20.3 (359)	72.5 (1,279)	0.8 (15)	26.6 (471)
性別						
男性	805	6.6	21.1	71.6	0.7	27.7
女性	955	6.2	19.8	73.1	0.9	26.0
回答しない	5	-	-	100.0	-	-
年齢別						
18~29歳	237	2.1	20.3	77.6	-	22.4
30歳代	286	2.1	14.0	82.9	1.0	16.1
40歳代	302	6.6	14.2	78.5	0.7	20.8
50歳代	322	6.5	18.6	74.5	0.3	25.1
60歳代	371	7.8	24.8	67.1	0.3	32.6
70歳以上	247	12.6	30.8	53.4	3.2	43.4
ブロック別						
東部A	125	8.8	28.8	61.6	0.8	37.6
東部B(田主丸)	105	6.7	13.3	80.0	-	20.0
北部A	171	5.3	17.5	76.6	0.6	22.8
北部B(北野)	107	7.5	22.4	69.2	0.9	29.9
中央東部	219	6.4	22.8	70.3	0.5	29.2
南東部	182	6.6	20.9	70.3	2.2	27.5
中央部	224	8.0	18.8	73.2	-	26.8
中央南部	306	6.2	17.6	74.8	1.3	23.8
南西部	155	5.8	20.6	72.9	0.6	26.4
西部A(城島)	69	4.3	27.5	66.7	1.4	31.8
西部B(三瀬)	102	2.0	19.6	77.5	1.0	21.6
自治会加入状況別						
加入している	1,409	7.2	21.2	70.6	0.9	28.4
加入していない	193	4.7	17.6	77.2	0.5	22.3
わからない	146	0.7	14.4	84.9	-	15.1
無回答	17	-	29.4	64.7	5.9	29.4

(2) 安全安心のまちづくりを市と地域の協働で進めていくこと

問 13 あなたは、「安全安心のまちづくり」を、市と地域の皆さんがともに協力しあって進めていくことが必要だと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



●安全安心のまちづくりを市と地域の人が協力して進めていくことが必要と思う人は 86.2%。

◆属性別特徴

- 【性別】女性は『思う』が 88.9% で男性より 5.9 ポイント高い。
- 【年齢別】年齢が上がるほど「『思う』」が高くなる傾向にある。
- 【ブロック別】東部 A、北部 B、中央東部、南東部、西部 B では「『思う』」が 5 割を超えている。
- 【自治会加入状況別】加入世帯は『思う』が 87.5% で未加入世帯より 5.6 ポイント高い。

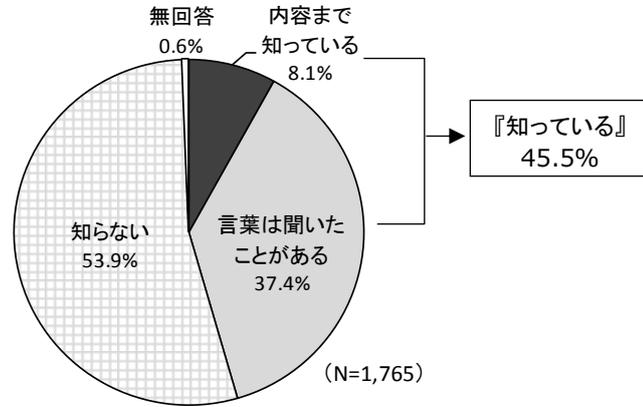
	標本数 (票)	安全安心のまちづくりは市と地域の協働が必要か (%)							
		『思う』	『どちらかといえば思う』	『どちらかといえばそう思わない』	『そう思わない』	『無回答』	『思う』	『思わない』	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	48.8 (861)	37.4 (660)	11.2 (197)	0.7 (13)	1.2 (21)	0.7 (13)	86.2 (1,521)	1.9 (34)
性別									
男性	805	47.3	35.7	13.2	1.4	2.0	0.5	83.0	3.4
女性	955	50.1	38.8	9.4	0.2	0.5	0.9	88.9	0.7
回答しない	5	40.0	40.0	20.0	-	-	-	80.0	-
年齢別									
18~29歳	237	41.8	43.5	13.1	0.4	1.3	-	85.3	1.7
30歳代	286	44.4	42.0	11.9	0.3	0.7	0.7	86.4	1.0
40歳代	302	47.7	37.7	12.9	0.3	1.0	0.3	85.4	1.3
50歳代	322	47.8	38.2	10.6	1.2	1.9	0.3	86.0	3.1
60歳代	371	55.3	32.6	8.6	1.3	1.3	0.8	87.9	2.6
70歳以上	247	53.4	32.0	10.9	0.4	0.8	2.4	85.4	1.2
ブロック別									
東部A	125	50.4	37.6	9.6	-	1.6	0.8	88.0	1.6
東部B(田主丸)	105	41.9	42.9	13.3	1.0	1.0	-	84.8	2.0
北部A	171	45.6	40.4	11.1	1.2	1.8	-	86.0	3.0
北部B(北野)	107	53.3	33.6	11.2	0.9	-	0.9	86.9	0.9
中央東部	219	54.3	35.6	8.7	0.5	0.9	-	89.9	1.4
南東部	182	52.7	31.9	11.0	1.1	1.6	1.6	84.6	2.7
中央部	224	49.6	37.9	10.3	-	1.8	0.4	87.5	1.8
中央南部	306	48.0	37.3	11.4	1.0	1.3	1.0	85.3	2.3
南西部	155	43.9	36.1	15.5	1.9	1.3	1.3	80.0	3.2
西部A(城島)	69	36.2	53.6	8.7	-	-	1.4	89.8	-
西部B(三瀬)	102	52.0	34.3	12.7	-	-	1.0	86.3	-
自治会加入状況別									
加入している	1,409	50.5	37.0	10.0	0.6	1.1	0.8	87.5	1.7
加入していない	193	45.6	36.3	15.0	1.0	1.6	0.5	81.9	2.6
わからない	146	35.6	45.2	16.4	1.4	1.4	-	80.8	2.8
無回答	17	52.9	17.6	17.6	-	5.9	5.9	70.5	5.9

## 2-2 地域での見守り活動

### (1) 「くるめ見守りネットワーク」の取り組みの認知

問 14 あなたは、「くるめ見守りネットワーク※」の取り組みについて知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

※「くるめ見守りネットワーク」とは…  
市民の皆さんや協力事業者が高齢者などのお住まいの異変に気づいたときに、「くるめ見守りほっとライン(毎日24時間受付)」に連絡してもらい、市が安否確認などを行う仕組みです。  
Tel:0942(30)9339



● 「くるめ見守りネットワーク」の取り組みを知っている人は45.5%。

#### ◆属性別特徴

【性別】女性に『知っている』が47.6%と男性より4.2ポイント高い。

【年齢別】年齢が上がるほど『知っている』は高く、60歳代以上で5割を超えている。

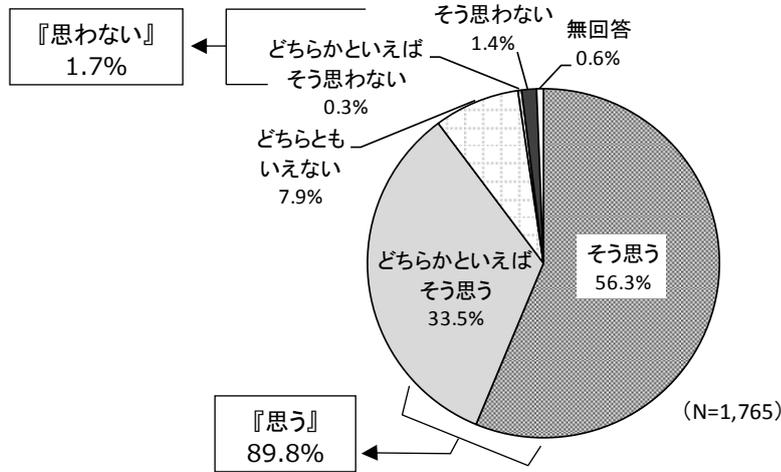
【ブロック別】東部A、北部B、南西部、西部Aでは『知っている』が5割を超えており、東部Bでは31.4%となっている。

【自治会加入状況別】加入世帯は『知っている』が49.4%で未加入世帯より16.7ポイント高い。

	標本数 (票)	くるめ見守りネットワークの認知 (%)				
		知内容 てま いで る	るた 言 こ 業 と は が 聞 あ い	知 ら な い	無 回 答	『 知 い つ て 』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	8.1 ( 143)	37.4 ( 660)	53.9 ( 951)	0.6 ( 11)	45.5 ( 803)
性別						
男性	805	8.0	35.4	56.1	0.5	43.4
女性	955	8.3	39.3	51.7	0.7	47.6
回答しない	5	-	-	100.0	-	-
年齢別						
18~29歳	237	0.8	21.5	77.6	-	22.3
30歳代	286	5.2	28.7	65.4	0.7	33.9
40歳代	302	7.6	36.4	55.6	0.3	44.0
50歳代	322	5.9	40.4	53.4	0.3	46.3
60歳代	371	12.1	46.6	41.2	-	58.7
70歳以上	247	15.8	46.2	35.2	2.8	62.0
ブロック別						
東部A	125	8.8	48.0	42.4	0.8	56.8
東部B(田主丸)	105	5.7	25.7	68.6	-	31.4
北部A	171	6.4	39.8	53.2	0.6	46.2
北部B(北野)	107	14.0	36.4	48.6	0.9	50.4
中央東部	219	6.4	39.3	54.3	-	45.7
南東部	182	5.5	36.3	56.6	1.6	41.8
中央部	224	8.0	34.4	57.6	-	42.4
中央南部	306	8.2	34.0	56.9	1.0	42.2
南西部	155	10.3	44.5	44.5	0.6	54.8
西部A(城島)	69	10.1	44.9	44.9	-	55.0
西部B(三瀬)	102	9.8	32.4	56.9	1.0	42.2
自治会加入状況別						
加入している	1,409	9.5	39.9	49.9	0.7	49.4
加入していない	193	2.6	30.1	67.4	-	32.7
わからない	146	2.1	22.6	75.3	-	24.7
無回答	17	5.9	41.2	47.1	5.9	47.1

(2) 高齢者などの見守りを市と地域の協働で進めていくこと

問 15 あなたは、高齢者などの見守りを、市と地域の皆さんがともに協力しあっていくことが必要だと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



●高齢者などの見守りを市と地域の人協力して進めていくことが必要と思う人は 89.8%。

◆属性別特徴

【性別】 女性は『思う』が 91.7%と男性より 4.2 ポイント高い。

【性別・年齢別】 男性 40 歳代以上と女性の全ての年齢層は『思う』が 9 割前後と高い。

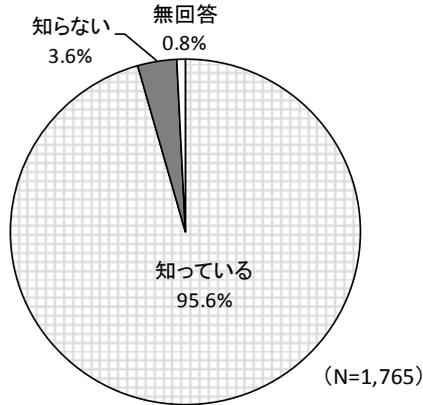
【ブロック別】 北部 A、北部 B、中央東部、西部 A、西部 B では『思う』が 9 割を超え高く、特に西部 A では 97.1%と高い。

	標本数 (票)	高齢者などの見守りは市と地域の協働が必要か (%)							『思う』 (1,585)	『思わない』 (30)
		そう思う	思いど うえち ばら そうと	いど えち なら とも	思 いど えち ばら そうと	い そ う 思 わ な	無 回 答			
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	56.3 (993)	33.5 (592)	7.9 (139)	0.3 (6)	1.4 (24)	0.6 (11)	89.8	1.7	
性別										
男性	805	53.8	33.7	9.6	0.5	2.0	0.5	87.5	2.5	
女性	955	58.3	33.4	6.5	0.2	0.8	0.7	91.7	1.0	
回答しない	5	60.0	40.0	-	-	-	-	100.0	-	
性別×年齢別										
男性:18~29歳	94	42.6	39.4	13.8	-	4.3	-	82.0	4.3	
男性:30歳代	127	44.9	33.1	17.3	0.8	3.9	-	78.0	4.7	
男性:40歳代	151	55.0	35.8	7.3	0.7	0.7	0.7	90.8	1.4	
男性:50歳代	144	47.2	43.1	7.6	0.7	1.4	-	90.3	2.1	
男性:60歳代	171	60.8	31.0	5.8	-	2.3	-	91.8	2.3	
男性:70歳以上	118	68.6	19.5	8.5	0.8	-	2.5	88.1	0.8	
女性:18~29歳	140	55.0	38.6	5.0	-	1.4	-	93.6	1.4	
女性:30歳代	159	56.6	35.2	6.3	0.6	-	1.3	91.8	0.6	
女性:40歳代	151	52.3	43.0	4.6	-	-	-	95.3	-	
女性:50歳代	176	64.2	29.5	4.5	-	1.1	0.6	93.7	1.1	
女性:60歳代	200	61.5	28.0	9.0	0.5	1.0	-	89.5	1.5	
女性:70歳以上	129	58.1	27.9	9.3	-	1.6	3.1	86.0	1.6	
性別:回答しない	5	60.0	40.0	-	-	-	-	100.0	-	
ブロック別										
東部A	125	59.2	30.4	5.6	-	4.0	0.8	89.6	4.0	
東部B(田主丸)	105	49.5	38.1	11.4	-	1.0	-	87.6	1.0	
北部A	171	57.3	32.7	8.2	0.6	1.2	-	90.0	1.8	
北部B(北野)	107	63.6	28.0	7.5	-	-	0.9	91.6	-	
中央東部	219	54.8	38.4	5.5	0.5	0.9	-	93.2	1.4	
南東部	182	58.8	30.2	6.6	-	2.7	1.6	89.0	2.7	
中央部	224	54.9	34.8	8.9	0.4	0.9	-	89.7	1.3	
中央南部	306	53.6	32.7	10.1	1.0	1.3	1.3	86.3	2.3	
南西部	155	53.5	35.5	8.4	-	1.9	0.6	89.0	1.9	
西部A(城島)	69	59.4	37.7	2.9	-	-	-	97.1	-	
西部B(三潁)	102	61.8	29.4	7.8	-	-	1.0	91.2	-	

## 2-3 交通安全（自転車）

### (1) 自転車は車道の左側通行のルールの認知

問 16 あなたは、自転車は原則として車道の左側を通行しなければならないルールを知っていますか。  
 (あてはまる番号に1つだけ○印)



●自転車は原則として車道の左側を通行しなければならないルールを知っている人は95.6%。

#### ◆属性別特徴

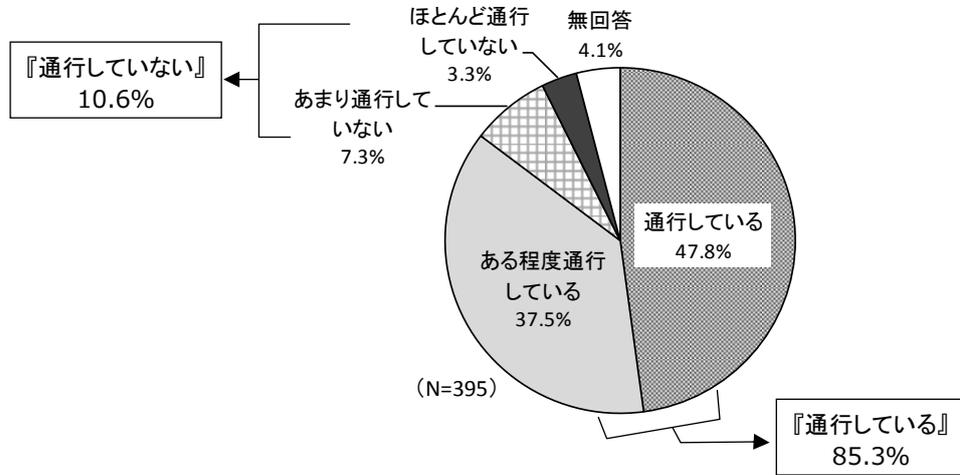
【性別】男女とも「知っている」が約95%で、性別による差はほとんどない。

【年齢別】全ての年齢層で「知っている」は95%前後で、年齢による差はあまり見られない。

	標本数 (票)	自転車は車道の左側通行の認知(%)		
		知っている	知らない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 ( 1,765)	95.6 ( 1,687)	3.6 ( 64)	0.8 ( 14)
性別				
男性	805	95.8	3.1	1.1
女性	955	95.6	3.9	0.5
回答しない	5	60.0	40.0	-
年齢別				
18～29歳	237	93.7	5.9	0.4
30歳代	286	94.4	4.9	0.7
40歳代	302	97.7	1.3	1.0
50歳代	322	96.6	3.1	0.3
60歳代	371	94.6	4.0	1.3
70歳以上	247	96.4	2.8	0.8

(2) 自転車を利用するとき車道の左側を通行しているか

問 17 **日ごろ、自転車を利用している人におたずねします** あなたは、自転車を利用するとき、車道の左側を通行していますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



●自転車を利用するとき、車道の左側を通行している人は 85.3%。

◆属性別特徴

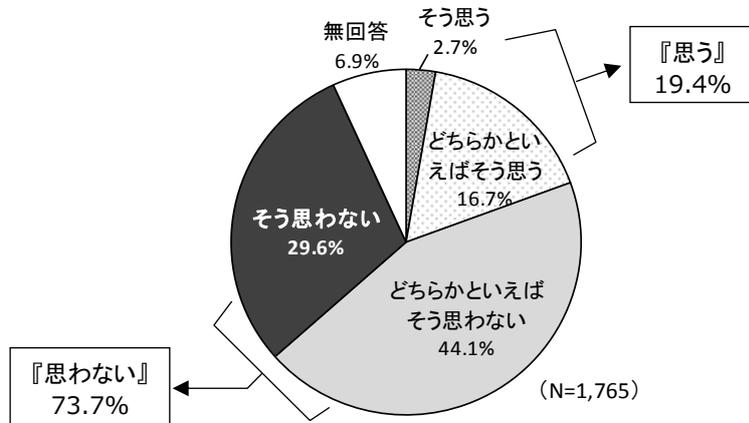
【性別】男女とも『通行している』は約 85%で、性別による差はほとんどない。

【年齢別】年齢が上がるほど『通行している』は高くなる傾向にあり、70歳以上では 91.3%と最も高い。18～29歳は『通行していない』が 18.2%で他の年齢層より高い。

	標本数 (票)	自転車利用時、車道の左側を通行しているか (%)						『通行している』	『通行していない』
		通行している	ある程度通行している	あまり通行しない	ほとんど通行しない	無回答	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 ( 395)	47.8 ( 189)	37.5 ( 148)	7.3 ( 29)	3.3 ( 13)	4.1 ( 16)	85.3 ( 337)	10.6 ( 42)	
性別									
男性	172	45.9	38.4	8.1	1.2	6.4	84.3	9.3	
女性	222	49.5	36.5	6.8	5.0	2.3	86.0	11.8	
回答しない	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	
年齢別									
18～29歳	77	42.9	39.0	13.0	5.2	-	81.9	18.2	
30歳代	44	36.4	45.5	9.1	4.5	4.5	81.9	13.6	
40歳代	53	39.6	43.4	11.3	-	5.7	83.0	11.3	
50歳代	74	47.3	37.8	4.1	5.4	5.4	85.1	9.5	
60歳代	78	52.6	34.6	6.4	1.3	5.1	87.2	7.7	
70歳以上	69	62.3	29.0	1.4	2.9	4.3	91.3	4.3	

(3) 自転車利用における市内道路の安全度

問 18 現在、久留米市内の道路は、自転車を利用するときに安全だと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



●久留米市内の道路が自転車利用において安全だと思う人は19.4%。

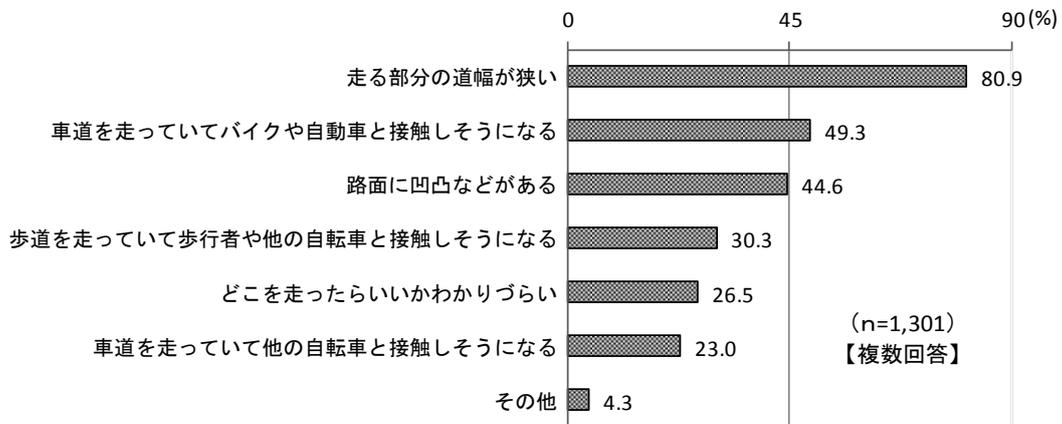
◆属性別特徴

- 【性別】男性は『思う』が20.8%で女性よりやや高い。
- 【年齢別】18～29歳と70歳以上は『思う』が約25%と高い。
- 【ブロック別】中央部では『思う』が32.2%で他のブロックより高く、中央東部では『思わない』が84.0%で他のブロックより高い。
- 【同居家族別】小学生から18歳未満の子どもがいる世帯は、『思わない』が他の世帯より高い。
- 【自転車利用状況別】自転車利用者は『思う』が23.6%で利用していない人より5.5ポイント高い。

	標本数(票)	市内の道路は自転車利用時には安全か (%)						『思う』	『思わない』		標本数(票)	市内の道路は自転車利用時には安全か (%)						『思う』	『思わない』
		そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答	『思う』					『思わない』	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	2.7 (48)	16.7 (295)	44.1 (778)	29.6 (523)	6.9 (121)	19.4 (343)	73.7 (1,301)	全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	2.7 (48)	16.7 (295)	44.1 (778)	29.6 (523)	6.9 (121)	19.4 (343)	73.7 (1,301)		
性別									世帯の中に就学前の子どもがいる	245	0.8	16.7	44.1	30.6	7.8	17.5	74.7		
男性	805	2.9	17.9	41.9	31.8	5.6	20.8	73.7	世帯の中に小学生がいる	246	1.6	15.9	44.3	32.9	5.3	17.5	77.2		
女性	955	2.6	15.7	46.0	27.7	8.0	18.3	73.7	世帯の中に中学生がいる	146	1.4	17.8	44.5	31.5	4.8	19.2	76.0		
回答しない	5	-	20.0	40.0	40.0	-	20.0	80.0	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	3.0	16.2	42.5	34.7	3.6	19.2	77.2		
年齢別	18～29歳	237	3.8	20.7	47.7	24.9	3.0	24.5	72.6	世帯の中に65歳以上の人がいる	819	2.4	19.7	41.6	28.2	8.1	22.1	69.8	
	30歳代	286	1.4	16.4	45.5	30.4	6.3	17.8	75.9	世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる	222	4.1	17.1	35.6	33.3	9.9	21.2	68.9	
	40歳代	302	2.3	13.2	49.7	29.8	5.0	15.5	79.5	以上にあてはまる人はいない	482	3.5	13.9	47.9	29.3	5.4	17.4	77.2	
	50歳代	322	2.5	13.4	49.1	29.2	5.9	15.9	78.3	無回答	7	-	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	71.5	
	60歳代	371	3.8	15.9	38.0	33.2	9.2	19.7	71.2	況利別	395	2.3	21.3	45.3	29.6	1.5	23.6	74.9	
70歳以上	247	2.4	23.1	34.8	28.3	11.3	25.5	63.1	自転車を利用する	1,356	2.7	15.4	43.9	29.6	8.3	18.1	73.5		
ブロック別	東部A	125	-	12.0	44.0	33.6	10.4	12.0	77.6	自転車を利用しない	14	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6	57.2	
	東部B(田主丸)	105	2.9	13.3	47.6	32.4	3.8	16.2	80.0										
	北部A	171	2.3	17.0	42.1	30.4	8.2	19.3	72.5										
	北部B(北野)	107	3.7	17.8	53.3	20.6	4.7	21.5	73.9										
	中央東部	219	1.4	9.1	47.9	36.1	5.5	10.5	84.0										
	南東部	182	1.1	12.6	47.8	27.5	11.0	13.7	75.3										
	中央部	224	4.5	27.7	36.2	25.4	6.3	32.2	61.6										
中央南部	306	4.9	17.0	44.1	29.1	4.9	21.9	73.2											
南西部	155	1.3	16.8	45.8	29.7	6.5	18.1	75.5											
西部A(城島)	69	5.8	20.3	37.7	24.6	11.6	26.1	62.3											
西部B(三瀬)	102	1.0	20.6	38.2	34.3	5.9	21.6	72.5											

(4) 安全だと思わない理由

問 18 付問 **問 18 で 3 または 4 に回答した人に** 安全だと思わない理由は何ですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



● 「走る部分の道幅が狭い」が 80.9% で最も高い。

◆ 属性別特徴

【性別】 男性は「車道でバイクや自動車に接触しそうになる」などが女性より高く、女性は「どこを走ったらいいかわかりづらい」「歩道で歩行者や他の自転車に接触しそうになる」などが男性より高い。

【年齢別】 全ての年齢層で「走る部分の道幅が狭い」が最も高く、30 歳代は 84.8% と特に高い。

【ブロック別】 東部 A、中央東部、中央南部では「走る部分の道幅が狭い」、中央東部では「歩道で歩行者や他の自転車に接触しそうになる」、南東部では「車道でバイクや自動車に接触しそうになる」が他のブロックより高い。

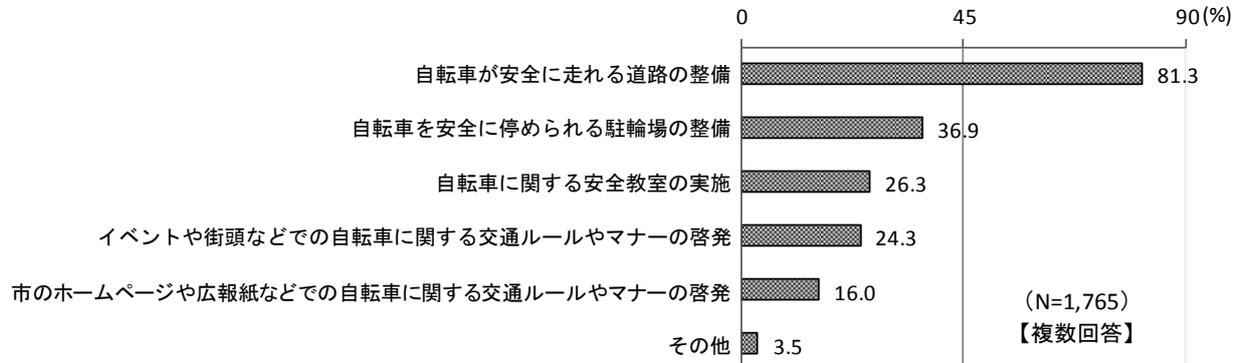
【同居家族別】 小学生・中学生がいる世帯は「走る部分の道幅が狭い」、中学生から 18 歳未満の子どもがいる世帯は「路面に凹凸がある」「車道でバイクや自動車に接触しそうになる」が他の世帯より高い。

【自転車利用状況別】 自転車利用者は「路面に凹凸がある」「車道でバイクや自動車に接触しそうになる」「歩道で歩行者や他の自転車に接触しそうになる」が利用していない人より 10 ポイント以上高い。

		標本数 (票)	安全だと思わない理由 (%)											
			いどこ かわかりつ づたらしい	狭 い 部 分 の 道 幅 が	あ る 面 に 凹 凸 な ど が	接 触 し そ う な ら な い	バ イ ク を 走 ら な い	車 道 を 走 ら な い	し た ら な い	車 道 を 走 ら な い	な ら な い	歩 道 を 走 ら な い	歩 道 を 走 ら な い	そ の 他
全 体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,301)	26.5 ( 345)	80.9 (1,053)	44.6 ( 580)	49.3 ( 641)	23.0 ( 299)	30.3 ( 394)	4.3 ( 56)	0.3 ( 4)				
性 別	男性	593	23.8	81.3	42.8	51.4	22.8	28.0	4.4	0.2				
	女性	704	28.7	80.5	46.0	47.3	23.0	32.0	4.3	0.4				
	回答しない	4	50.0	100.0	50.0	75.0	50.0	75.0	-	-				
年 齢 別	18～29歳	172	25.0	77.9	51.7	52.9	23.3	31.4	5.8	0.6				
	30歳代	217	31.3	84.8	40.6	47.9	21.7	24.9	2.8	-				
	40歳代	240	26.3	80.8	45.4	53.8	23.8	29.2	2.9	-				
	50歳代	252	30.2	82.1	45.6	48.8	26.6	34.9	7.5	0.8				
	60歳代	264	22.7	80.3	41.7	44.7	19.3	29.2	4.2	0.4				
	70歳以上	156	22.4	78.2	44.2	48.7	23.7	32.7	1.9	-				
	ブ ロ ッ ク 別	東部A	97	30.9	84.5	45.4	46.4	25.8	34.0	4.1	-			
東部B(田主丸)		84	19.0	76.2	44.0	39.3	21.4	25.0	1.2	1.2				
北部A		124	32.3	78.2	38.7	51.6	21.0	33.9	2.4	-				
北部B(北野)		79	24.1	83.5	38.0	53.2	26.6	24.1	2.5	-				
中央東部		184	26.1	85.3	50.5	43.5	31.0	39.7	5.4	-				
南東部		137	17.5	77.4	40.1	58.4	23.4	28.5	6.6	-				
中央部		138	29.0	75.4	40.6	50.7	23.9	30.4	6.5	1.4				
中央南部		224	29.0	84.8	48.2	52.7	19.6	31.3	4.0	-				
南西部		117	24.8	83.8	47.0	53.0	23.1	30.8	4.3	0.9				
同 居 家 族 別	西部A(城島)	43	23.3	76.7	51.2	32.6	14.0	16.3	4.7	-				
	西部B(三瀧)	74	32.4	75.7	43.2	44.6	13.5	16.2	2.7	-				
	世帯の中に就学前の子どもがいる	183	31.7	84.7	42.1	49.7	21.3	27.9	3.8	0.5				
	世帯の中に小学生がいる	190	29.5	89.5	42.1	50.5	22.1	31.1	3.7	-				
	世帯の中に中学生がいる	111	23.4	88.3	53.2	54.1	23.4	35.1	4.5	-				
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	129	24.0	82.2	56.6	59.7	31.0	34.9	3.1	-				
	世帯の中に65歳以上の人がいる	572	24.7	79.2	43.0	48.3	22.6	30.6	3.1	0.3				
世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含む)	153	26.8	80.4	40.5	51.6	28.8	33.3	8.5	0.7					
以上にあてはまる人はいない	372	28.2	80.1	47.8	49.7	23.4	31.2	5.1	0.3					
無回答	5	40.0	100.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-					
利 用 状 況	自転車を利用する	296	24.3	84.1	56.1	59.8	30.1	39.2	5.7	-				
	自転車を利用しない	997	27.2	79.8	40.9	46.2	20.9	27.6	3.8	0.4				
	無回答	8	25.0	100.0	75.0	37.5	25.0	37.5	12.5	-				

(5) 安全に自転車を利用するために必要な取り組み

問 19 安全に自転車を利用するためにどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



● 「自転車が安全に走れる道路の整備」が 81.3%で最も高い。

◆属性別特徴

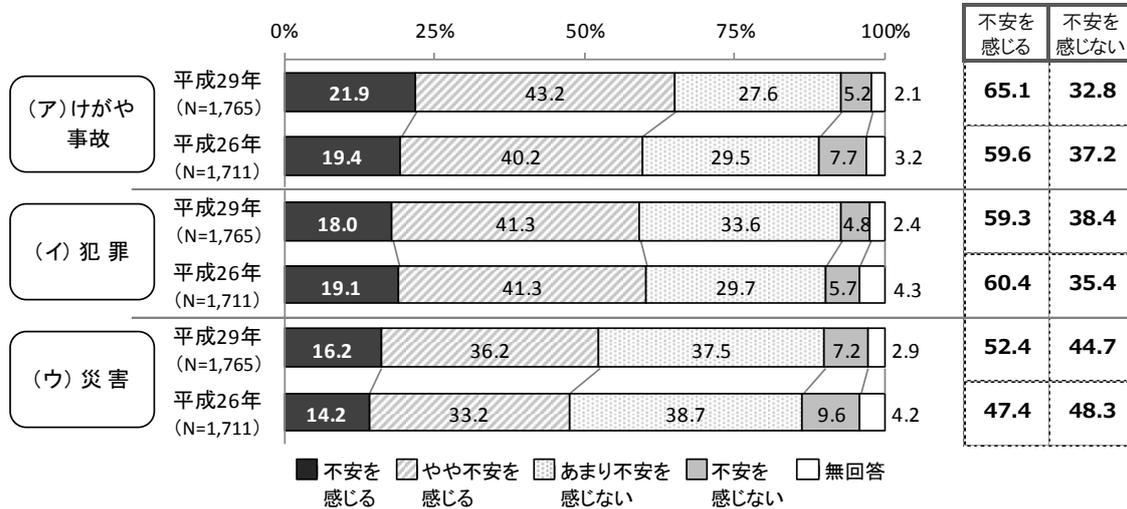
- 【性別】 女性は「自転車を安全に止められる駐輪場の整備」が 39.4%で男性より 5.5 ポイント高い。
- 【年齢別】 40 歳代以下は「自転車が安全に走れる道路の整備」、50 歳代以上は「交通ルールやマナーの啓発」が他の年齢層より高い。
- 【ブロック別】 北部 B、中央南部、南西部では「自転車が安全に走れる道路の整備」、南東部では「安全教室の実施」、北部 A、中央南部では「自転車を安全に止められる駐輪場の整備」がそれぞれ他のブロックより高い。
- 【自転車利用状況別】 自転車利用者は「道路の整備」「駐輪場の整備」などが利用していない人より高く、利用していない人は「安全教室の実施」「イベントなどでの交通ルールやマナーの啓発」が自転車利用者より高い。

		標本数(票)	自転車を安全に利用するために必要な取り組み (%)						
			道路自転車の整備	室内自転車の実施に関する安全教	ルのイペル自転車のマナーの啓発	ナ関の啓発	報紙のな	市のホームペー	れ自転車の駐輪場の整備
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,765)	81.3 (1,435)	26.3 (464)	24.3 (429)	16.0 (283)	36.9 (652)	3.5 (61)	5.0 (89)
性別	男性	805	81.5	27.2	23.5	15.3	33.9	3.7	4.0
	女性	955	81.2	25.5	24.9	16.8	39.4	3.2	6.0
	回答しない	5	80.0	20.0	40.0	-	60.0	-	-
年齢別	18~29歳	237	84.4	13.9	13.9	6.8	43.0	3.4	2.5
	30歳代	286	86.0	25.9	19.6	13.3	35.3	2.1	4.2
	40歳代	302	85.8	28.1	20.5	13.6	33.1	5.3	3.3
	50歳代	322	80.7	27.3	29.5	19.3	41.0	4.0	4.0
	60歳代	371	76.0	32.1	29.1	19.4	34.0	4.0	7.3
	70歳以上	247	76.1	26.3	30.4	21.9	36.8	1.2	8.5
ブロック別	東部A	125	79.2	31.2	36.0	14.4	37.6	1.6	8.0
	東部B(田主丸)	105	81.9	20.0	24.8	13.3	32.4	1.0	2.9
	北部A	171	80.1	23.4	24.6	14.6	43.3	2.3	6.4
	北部B(北野)	107	86.0	31.8	20.6	18.7	39.3	2.8	2.8
	中央東部	219	80.8	29.2	25.6	16.9	36.5	6.4	4.1
	南東部	182	74.2	36.8	23.1	18.7	33.5	4.4	7.7
	中央部	224	78.1	19.6	25.4	16.5	38.4	1.8	4.9
	中央南部	306	85.9	24.2	23.5	17.6	42.8	5.2	4.2
	南西部	155	85.8	25.2	20.6	9.7	31.0	2.6	3.2
利用状況別	自転車を利用する	395	87.6	21.3	21.8	16.2	47.1	5.8	2.3
	自転車を利用しない	1,356	79.4	27.8	25.1	16.0	34.0	2.7	5.8
	無回答	14	92.9	21.4	14.3	14.3	35.7	7.1	7.1

## 2-4 防犯・防災

### (1) けがや事故、犯罪、災害への不安感

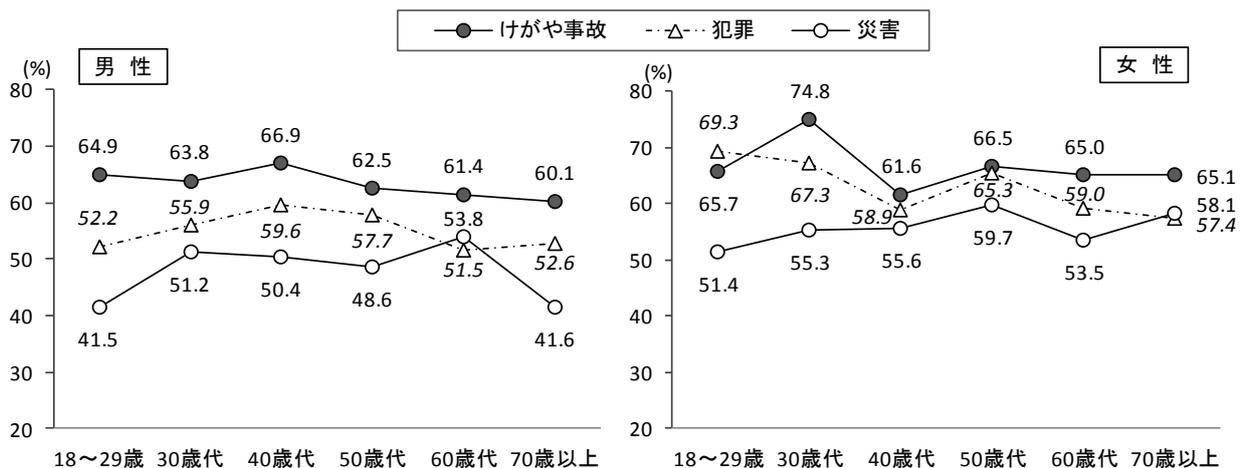
問 20 (A) あなたは、お住まいの地域で、けがや事故、犯罪、災害にあうかもしれない不安を感じますか。  
(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)



● 「けがや事故」「犯罪」への不安を感じる人は約6割、「災害」にも約5割の人が不安を感じている。

#### ■ 性別・年齢別にみた『不安を感じる』割合

- ◇ (ア) けがや事故に対する不安は、女性 30 歳代が 74.8%と最も高い。一方、男性は 70 歳以上が 60.1%と最も低い。
- ◇ (イ) 犯罪に対する不安は、女性 18～29 歳が 69.3%と最も高い。



◆属性別特徴

【性別】(イ) 犯罪 (ウ) 災害では、女性は『不安を感じる』が男性より約7ポイント高い。

【ブロック別】(ア) けがや事故 (イ) 犯罪では、中央東部は『不安を感じる』が他のブロックより高い。(ウ) 災害では、東部A、東部B、北部Bは『不安を感じる』が他のブロックより高い。

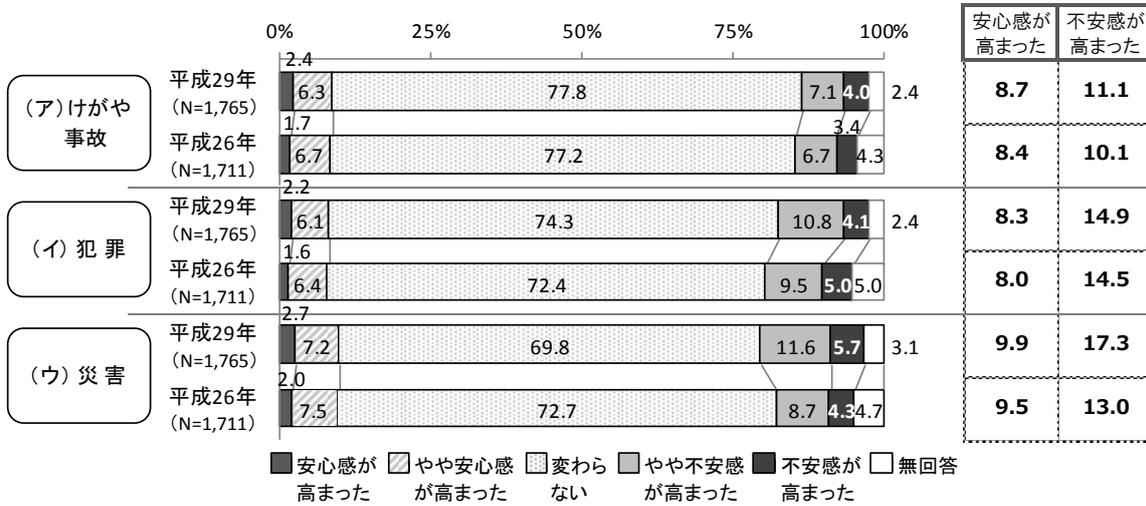
【同居家族別】(ア) けがや事故では、小学生以下の子どもがいる世帯は『不安を感じる』が7割を超えている。(ウ) 災害では、障害者手帳所持者がいる世帯は『不安を感じる』が6割を超えている。

(%)

	標本数(票)	(ア)けがや事故						(イ)犯罪						(ウ)災害								
		不安を感じる	じやや不安を感じる	感じない不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	不安を感じる	じやや不安を感じる	感じない不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』	不安を感じる	じやや不安を感じる	感じない不安を感じる	あまり不安を感じない	不安を感じない	無回答	『不安を感じる』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	21.9 (387)	43.2 (762)	27.6 (488)	5.2 (91)	2.1 (37)	65.1 (1,149)	18.0 (317)	41.3 (729)	33.6 (593)	4.8 (84)	2.4 (42)	59.3 (1,049)	16.2 (286)	36.2 (639)	37.5 (661)	7.2 (127)	2.9 (52)	52.4 (925)			
性別																						
男性	805	18.9	44.3	29.2	5.6	2.0	63.2	15.0	40.0	37.5	4.7	2.7	55.0	13.9	34.7	39.9	8.2	3.4	48.6			
女性	955	24.2	42.3	26.5	4.8	2.2	66.5	20.5	42.3	30.3	4.8	2.1	62.8	18.1	37.5	35.4	6.4	2.6	55.6			
回答しない	5	80.0	20.0	-	-	-	100.0	-	60.0	40.0	-	-	60.0	20.0	40.0	40.0	-	-	60.0			
ブロック別																						
東部A	125	23.2	42.4	27.2	4.8	2.4	65.6	19.2	38.4	34.4	4.0	4.0	57.6	24.0	38.4	28.0	5.6	4.0	62.4			
東部B(田主丸)	105	22.9	31.4	41.0	3.8	1.0	54.3	11.4	30.5	48.6	6.7	2.9	41.9	29.5	37.1	27.6	3.8	1.9	66.6			
北部A	171	15.8	48.0	29.2	4.1	2.9	63.8	17.0	48.0	29.8	4.1	1.2	65.0	14.6	36.3	43.3	2.3	3.5	50.9			
北部B(北野)	107	22.4	44.9	28.0	3.7	0.9	67.3	15.9	43.9	38.3	1.9	-	59.8	18.7	45.8	33.6	1.9	-	64.5			
中央東部	219	25.1	49.3	19.6	5.5	0.5	74.4	21.0	46.6	26.9	4.1	1.4	67.6	16.9	36.1	36.1	9.1	1.8	53.0			
南東部	182	23.1	45.1	24.2	3.8	3.8	68.2	20.3	41.2	30.2	4.9	3.3	61.5	17.0	37.9	33.0	7.7	4.4	54.9			
中央部	224	21.9	39.3	29.9	7.1	1.8	61.2	21.4	37.1	35.7	4.5	1.3	58.5	16.5	36.2	37.1	8.9	1.3	52.7			
中央南部	306	24.5	39.9	29.7	4.2	1.6	64.4	20.3	43.1	29.1	5.9	1.6	63.4	12.4	28.4	44.4	11.1	3.6	40.8			
南西部	155	20.0	47.7	27.1	3.2	1.9	67.7	12.3	41.9	38.7	4.5	2.6	54.2	9.0	38.1	45.2	5.8	1.9	47.1			
西部A(城島)	69	14.5	33.3	31.9	10.1	10.1	47.8	11.6	29.0	39.1	5.8	14.5	40.6	17.4	26.1	37.7	5.8	13.0	43.5			
西部B(三潁)	102	20.6	48.0	21.6	9.8	-	68.6	14.7	42.2	36.3	5.9	1.0	56.9	10.8	47.1	32.4	8.8	1.0	57.9			
同居家族別																						
世帯の中に就学前の子どもがいる	245	24.1	52.7	19.2	3.3	0.8	76.8	17.1	49.4	27.8	4.5	1.2	66.5	15.9	38.4	38.8	5.7	1.2	54.3			
世帯の中に小学生がいる	246	28.5	44.7	20.3	4.1	2.4	73.2	19.5	44.3	28.9	4.1	3.3	63.8	15.4	37.8	38.6	4.1	4.1	53.2			
世帯の中に中学生がいる	146	23.3	43.8	27.4	4.1	1.4	67.1	19.9	45.2	30.1	2.7	2.1	65.1	17.1	34.2	41.1	5.5	2.1	51.3			
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	22.2	43.7	25.1	7.8	1.2	65.9	20.4	40.1	32.9	5.4	1.2	60.5	19.2	32.9	38.3	7.8	1.8	52.1			
世帯の中に65歳以上の人がいる	819	22.2	39.9	29.4	5.4	3.1	62.1	16.1	38.5	37.0	5.1	3.3	54.6	16.0	35.0	37.0	8.1	3.9	51.0			
世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含む)	222	23.9	41.0	26.6	3.2	5.4	64.9	19.8	39.2	32.4	5.0	3.6	59.0	20.7	39.6	30.6	5.4	3.6	60.3			
以上にあてはまる人はいない	482	18.5	46.1	28.0	6.2	1.2	64.6	18.0	45.4	30.3	4.8	1.5	63.4	14.9	38.6	37.1	7.1	2.3	53.5			
無回答	7	42.9	28.6	28.6	-	-	71.5	57.1	14.3	14.3	14.3	-	71.4	42.9	14.3	42.9	-	-	57.2			

(2) 3年間で不安感の変化

問 20 (B) では、この3年くらいの間で不安感は変化しましたか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)



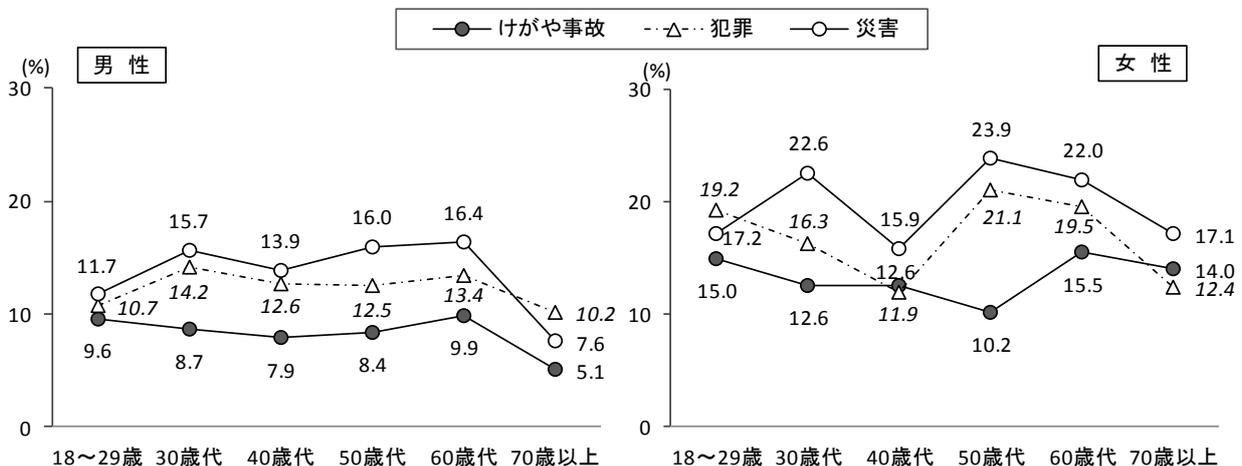
● 「けがや事故」「犯罪」「災害」に対して『安心感が高まった人』は1割弱。  
『不安感が高まった』人は1割強で、特に「災害」が17.3%でやや高い。

◆属性別特徴

- 【性別】(ア) けがや事故 (イ) 犯罪 (ウ) 災害のいずれでも、女性は『不安感が高まった』が男性より高い。
- 【ブロック別】(ア) けがや事故では、南東部、(イ) 犯罪では、北部B、(ウ) 災害では、東部B、中央東部、南東部の『不安感が高まった』が他のブロックより高い。
- 【同居家族別】(ア) けがや事故 (ウ) 災害では、中学生以下の子どもがいる世帯は『不安感が高まった』が他の世帯より高い。(イ) 犯罪では、小学生・中学生がいる世帯は『不安感が高まった』が他の世帯より高い。

■性別・年齢別にみた『不安感が高まった』割合

◇ (ウ) 災害では女性30歳代と50・60歳代、(イ) 犯罪では女性50・60歳代女性の不安感が高まっている。



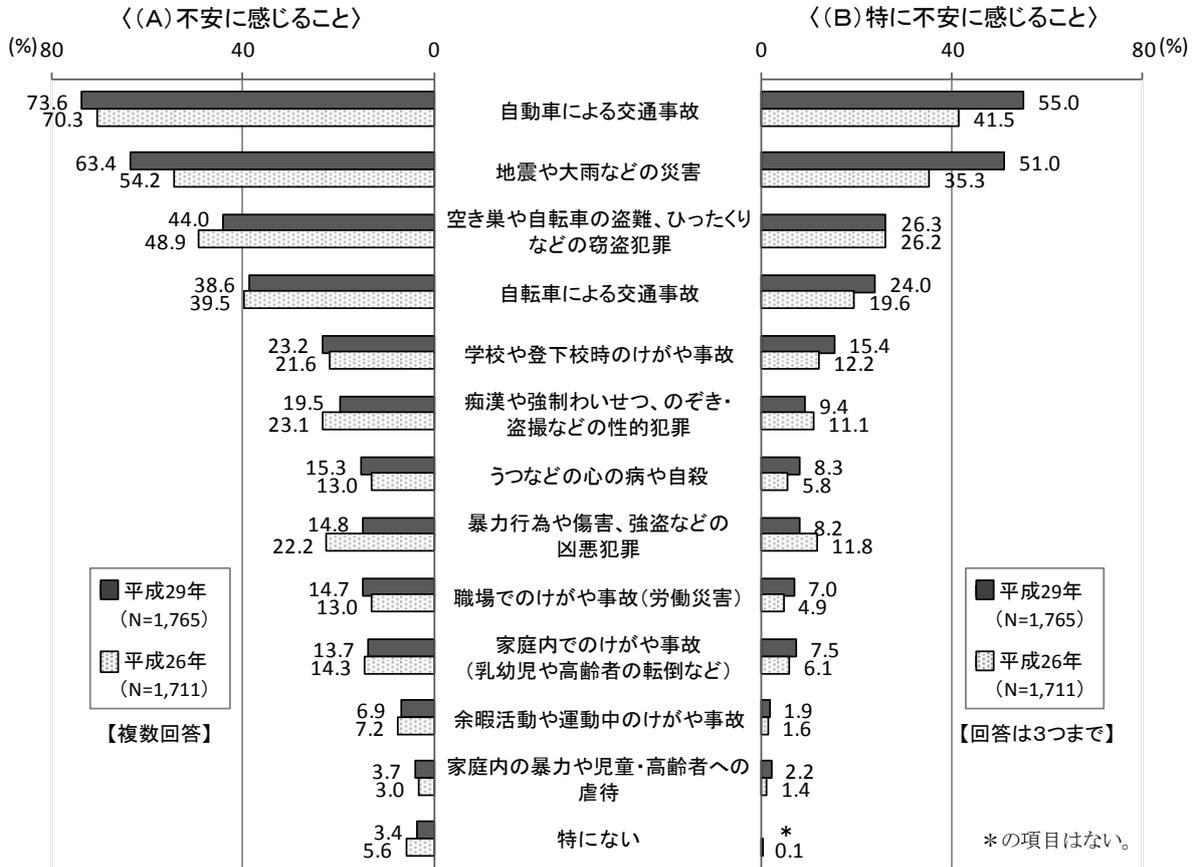


(3) ふだんの生活で不安に感じること

問 21 (A) あなたやあなたのご家族がふだん生活する中で、不安に感じることは何ですか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

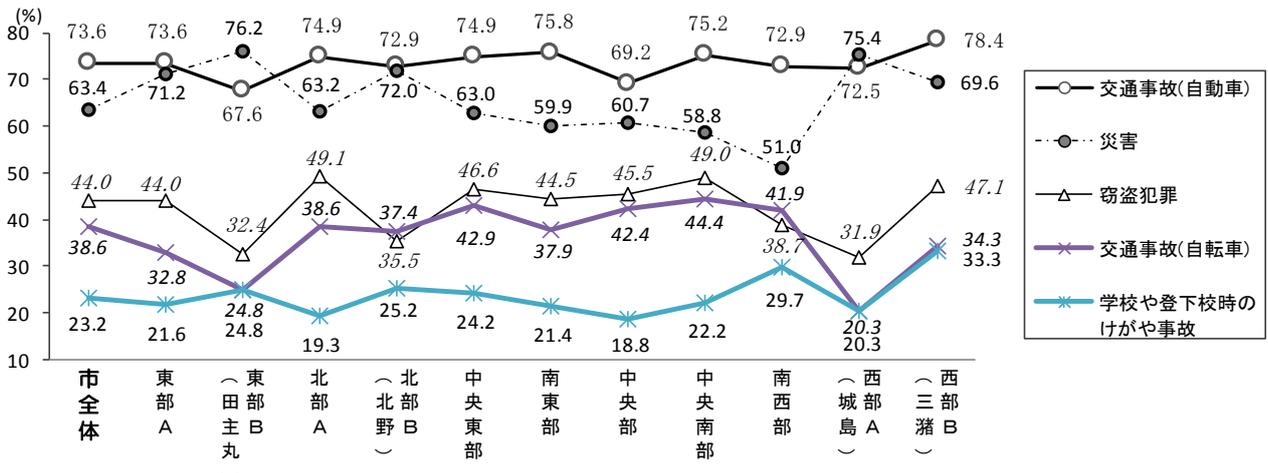
(B) 上記の中で、特に不安に感じるものを3つまで(2つ以内でも構いません)選び、下の枠内に番号を記入してください。



●「自動車による交通事故」に不安を感じる人が73.6%、「地震や大雨による災害」は63.4%。

■ブロック別にみた不安に感じること(上位5項目)

- ◇「災害」に対する不安は、東部A、東部B、北部B、西部Aで7割を超え高い。
- ◇「窃盗犯罪」に対する不安は、北部A、中央南部で5割近くと他のブロックより高く、東部B、西部Aは約3割で他のブロックより低い。
- ◇「自転車による交通事故」に対する不安は、西部Aで20.3%と他のブロックより低い。



◆属性別特徴

(A) 不安に感じること

【性別】男性は「凶悪犯罪」などが女性より高く、女性は「性的犯罪」「家庭内でのけがや事故」「災害」などが男性より高い。

【年齢別】30・40歳代は「自転車による交通事故」「学校や登下校時のけがや事故」、70歳以上は「自動車による交通事故」「家庭内でのけがや事故」が他の年齢層より高い。

【同居家族別】小学生・中学生がいる世帯は「自転車による交通事故」「学校や登下校時のけがや事故」、就学前の子どもがいる世帯と65歳以上の人がいる世帯は「自動車による交通事故」、65歳以上の人がいる世帯と障害者手帳所持者がいる世帯は「家庭内でのけがや事故」が他の世帯より高い。

		標本数(票)	(A)ふだんの生活で不安に感じること(%)															
			自転車による交通事故	自動車による交通事故	家庭内の虐待	者への暴力や児童・高齢者の暴力や傷害、強盗など	暴力行為や傷害、強盗など	ひき逃げや自転車の盗難、窃盗犯罪	空き巣や自らの性的犯罪	痴漢や強制的わいせつ、のぞき盗撮などの性的犯罪	災害(労働)	職場でのけがや事故	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	幼児や高齢者の転倒など	家庭内でのけがや事故(乳)	うつなどの心の病や自殺	地震や大雨などの災害
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,765)	38.6 (681)	<b>73.6</b> (1,299)	3.7 (65)	14.8 (262)	44.0 (776)	19.5 (345)	14.7 (259)	6.9 (122)	23.2 (409)	13.7 (241)	15.3 (270)	63.4 (1,119)	3.4 (60)	1.0 (18)		
性別	男性	805	38.9	<b>71.2</b>	3.4	16.0	42.0	14.9	16.1	7.6	22.2	9.4	15.0	57.3	4.0	1.6		
	女性	955	38.2	<b>75.6</b>	4.0	13.8	45.8	23.6	13.3	6.4	24.1	17.1	15.3	68.7	2.9	0.5		
	回答しない	5	60.0	<b>80.0</b>	-	20.0	20.0	-	40.0	-	-	40.0	60.0	40.0	-	-		
年齢別	18~29歳	237	39.2	<b>68.4</b>	4.6	19.4	42.6	25.3	16.5	4.6	18.6	9.3	16.0	62.4	5.9	0.8		
	30歳代	286	40.9	<b>72.0</b>	3.8	17.5	42.7	25.2	17.5	7.7	39.2	14.7	18.5	66.1	3.1	0.7		
	40歳代	302	48.7	<b>73.5</b>	2.6	11.9	46.7	27.8	17.2	7.3	39.1	7.9	15.2	60.6	2.3	1.3		
	50歳代	322	38.8	<b>73.3</b>	5.0	16.8	50.0	21.1	17.1	6.8	16.1	11.2	17.7	68.6	3.4	0.3		
	60歳代	371	30.5	<b>74.4</b>	3.2	15.6	42.0	11.6	12.4	6.2	12.1	14.6	12.7	65.5	3.0	1.9		
	70歳以上	247	34.8	<b>79.8</b>	2.8	7.3	38.5	7.3	6.9	8.9	15.4	25.5	11.7	54.7	3.2	0.8		
同居家族別	世帯の中に就学前の子どもがいる	245	44.5	<b>75.9</b>	2.4	14.3	43.7	29.8	12.2	4.5	47.8	17.6	10.6	60.4	2.9	0.8		
	世帯の中に小学生がいる	246	61.8	<b>67.1</b>	1.6	12.6	40.2	32.1	11.0	7.7	<b>74.8</b>	4.9	13.0	58.9	2.4	1.6		
	世帯の中に中学生がいる	146	63.7	<b>70.5</b>	4.1	14.4	42.5	34.9	14.4	11.0	60.3	4.8	15.1	59.6	5.5	1.4		
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	59.9	<b>73.1</b>	3.6	11.4	44.9	28.7	19.8	7.8	46.7	6.6	15.6	65.3	1.2	0.6		
	世帯の中に65歳以上の人がある	819	34.9	<b>75.5</b>	3.8	11.4	41.8	11.4	11.7	6.6	16.7	19.8	14.0	61.9	3.8	1.5		
	世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含む)	222	37.4	<b>71.6</b>	7.2	12.6	39.2	12.6	15.8	7.2	19.4	22.1	20.3	64.9	2.7	1.4		
	以上にあてはまる人はいない	482	34.0	<b>72.6</b>	4.1	20.7	49.6	23.7	19.3	6.2	7.5	5.8	18.3	65.6	3.3	0.6		
無回答	7	28.6	<b>71.4</b>	14.3	28.6	57.1	14.3	28.6	-	28.6	28.6	28.6	28.6	57.1	-	-		

(B) 特に不安に感じること

【性別】男性は「凶悪犯罪」などが女性より高く、女性は「性的犯罪」「家庭内でのけがや事故」「災害」などが男性より高い。

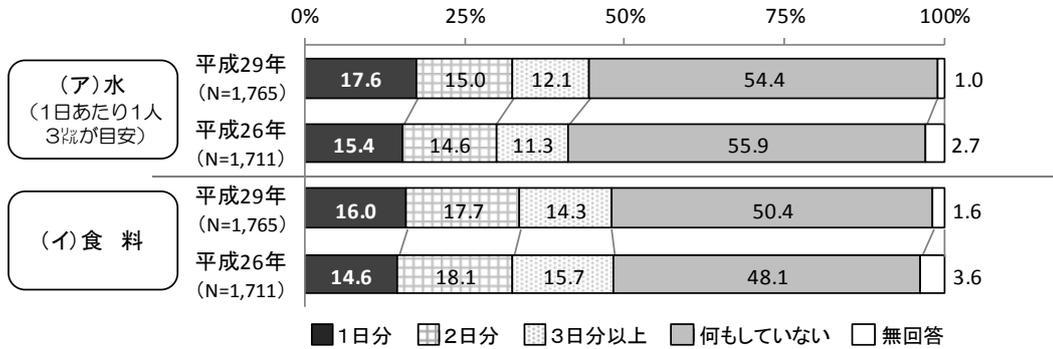
【年齢別】30・40 歳代は「学校や登下校時のけがや事故」、40 歳代は「自転車による交通事故」、70 歳以上は「家庭内でのけがや事故」が他の年齢層より高い。

【同居家族別】中学生から 18 歳未満の子どもがいる世帯は「自転車による交通事故」、就学前の子どものいる世帯と 65 歳以上の人がいる世帯は「自動車による交通事故」、中学生以下の子どもがいる世帯は「性的犯罪」「学校や登下校時のけがや事故」、65 歳以上の人がいる世帯と障害者手帳所持者がいる世帯は「家庭内でのけがや事故」が他の世帯より高い。

		標本数(票)	(B)特に不安に感じること (%)												
			自転車による交通事故	自動車による交通事故	家庭内の虐待	暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪	空き巣や自転車の窃盗犯罪	ひったくりなどの強盗犯罪	空き巣や強制的な性的犯罪	痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪	職場でのけがや事故(労働災害)	事故	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	幼児や高齢者の転倒など(乳幼児や高齢者の転倒など)
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,765)	24.0 (424)	<b>55.0</b> (971)	2.2 (38)	8.2 (144)	26.3 (465)	9.4 (166)	7.0 (124)	1.9 (33)	15.4 (271)	7.5 (133)	8.3 (147)	51.0 (901)	9.5 (168)
性別	男性	805	25.1	<b>53.4</b>	1.9	9.6	26.3	7.6	8.6	2.1	15.0	5.0	8.2	45.1	12.2
	女性	955	23.0	<b>56.3</b>	2.4	6.9	26.5	11.0	5.7	1.7	15.7	9.7	8.5	56.1	7.3
	回答しない	5	40.0	<b>60.0</b>	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	40.0	-
年齢別	18～29歳	237	25.3	54.4	2.1	13.1	23.6	11.4	7.2	0.8	11.8	4.2	5.9	<b>54.9</b>	8.4
	30歳代	286	22.7	<b>54.2</b>	1.7	8.0	24.5	11.5	6.6	1.4	29.4	8.0	10.1	49.0	7.7
	40歳代	302	33.8	<b>50.7</b>	1.7	4.6	26.2	13.9	7.9	1.3	26.8	3.6	7.9	45.0	8.3
	50歳代	322	22.4	52.8	2.8	8.7	31.7	9.3	8.1	1.9	8.7	4.7	9.6	<b>56.5</b>	7.8
	60歳代	371	17.8	<b>59.6</b>	2.4	10.2	25.3	6.5	7.3	2.7	7.5	8.9	8.1	54.4	10.8
	70歳以上	247	23.9	<b>57.9</b>	2.0	4.0	25.9	4.0	4.5	2.8	8.9	16.6	7.7	44.9	14.6
同居家族別	世帯の中に就学前の子どもがいる	245	24.5	<b>52.7</b>	1.2	6.9	25.3	15.5	4.5	0.8	38.4	9.4	4.5	45.7	9.0
	世帯の中に小学生がいる	246	39.8	45.1	1.2	5.7	17.1	17.1	3.3	0.8	<b>58.5</b>	3.7	5.3	42.7	9.3
	世帯の中に中学生がいる	146	<b>47.9</b>	39.7	2.7	6.2	21.2	16.4	4.1	1.4	39.0	1.4	6.2	42.5	11.6
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	43.1	<b>48.5</b>	2.4	5.4	22.8	14.4	9.0	-	27.5	1.8	9.6	46.1	5.4
	世帯の中に65歳以上の人がいる	819	21.9	<b>56.4</b>	2.7	6.7	26.5	5.9	6.2	1.8	9.9	12.3	8.3	51.6	11.0
	世帯の中に障害者手帳を持っている人(本人を含む)	222	22.1	<b>50.0</b>	4.5	6.3	22.5	8.6	6.3	0.9	12.2	13.5	15.8	<b>50.0</b>	11.7
	以上にあてはまる人はいない	482	20.1	<b>57.1</b>	2.1	11.6	30.7	9.5	9.5	2.5	2.9	1.2	10.0	55.4	8.9
無回答	7	14.3	57.1	-	14.3	42.9	14.3	-	-	28.6	14.3	14.3	42.9	-	

(4) 家庭における災害への備え

問 22 地震や風水害などの災害時に電気・水道・ガスなどがストップした場合に備えて、あなたのご家庭では水や食料をどの程度備蓄していますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印)



●災害時に備えて3日分以上の備蓄をしている人は、「水」12.1%、「食料」14.3%。一方、「水」も「食料」も「何もしていない」人は約5割。

◆属性別特徴

【性別】(ア)水 (イ)食料ともに、男性は「何もしていない」が女性より高い。

【年齢別】(ア)水 (イ)食料ともに、年齢が上がるほど「何もしていない」は低くなる傾向にある。70歳以上では「3日分以上」がいずれも2割前後で他の年齢層より高い。

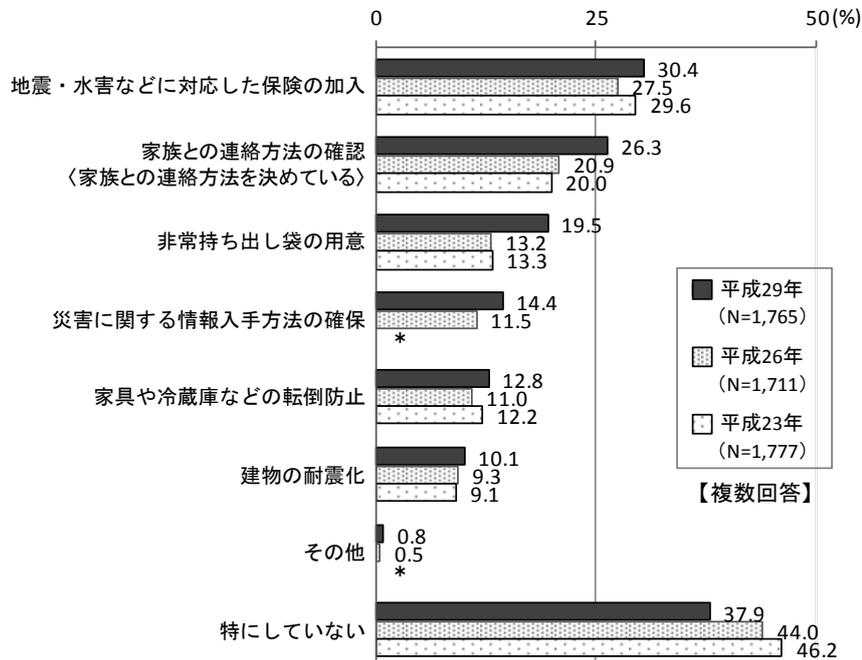
【ブロック別】(ア)水 (イ)食料ともに、中央部では「何もしていない」が他のブロックより低い。

	標本数 (票)	(ア)水 (%)					(イ)食料 (%)				
		1日分	2日分	3日分以上	何もしていない	無回答	1日分	2日分	3日分以上	何もしていない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	17.6 (310)	15.0 (264)	12.1 (214)	54.4 (960)	1.0 (17)	16.0 (282)	17.7 (313)	14.3 (252)	50.4 (889)	1.6 (29)
性別											
男性	805	14.2	15.4	12.2	57.3	1.0	14.0	17.3	15.3	51.8	1.6
女性	955	20.5	14.5	12.1	51.9	0.9	17.7	18.0	13.5	49.1	1.7
回答しない	5	-	40.0	-	60.0	-	-	40.0	-	60.0	-
年齢別											
18~29歳	237	19.0	7.2	8.4	65.0	0.4	17.3	11.0	6.3	63.7	1.7
30歳代	286	21.0	13.3	9.4	55.6	0.7	16.8	15.0	10.8	55.9	1.4
40歳代	302	15.6	13.6	9.9	60.3	0.7	18.5	17.2	10.6	52.6	1.0
50歳代	322	22.4	12.7	11.8	53.1	-	18.0	17.4	15.5	48.4	0.6
60歳代	371	13.7	21.3	14.0	49.9	1.1	13.5	22.6	18.3	44.5	1.1
70歳以上	247	14.2	19.4	19.0	44.1	3.2	11.7	21.1	22.7	39.7	4.9
ブロック別											
東部A	125	14.4	12.8	12.8	59.2	0.8	16.0	11.2	18.4	53.6	0.8
東部B(田主丸)	105	21.0	16.2	7.6	53.3	1.9	17.1	19.0	11.4	49.5	2.9
北部A	171	16.4	14.0	11.1	58.5	-	15.2	17.5	10.5	55.0	1.8
北部B(北野)	107	17.8	18.7	8.4	54.2	0.9	13.1	16.8	13.1	56.1	0.9
中央東部	219	19.6	13.7	12.8	53.4	0.5	14.6	18.3	13.7	52.5	0.9
南東部	182	19.2	14.8	10.4	53.3	2.2	18.7	22.5	11.0	44.5	3.3
中央部	224	19.6	16.5	17.4	45.5	0.9	16.5	19.6	22.8	39.3	1.8
中央南部	306	17.0	18.0	11.4	53.6	-	16.3	19.6	13.7	49.3	1.0
南西部	155	14.8	11.0	12.9	59.4	1.9	14.2	11.6	16.8	56.1	1.3
西部A(城島)	69	17.4	5.8	13.0	62.3	1.4	18.8	11.6	5.8	60.9	2.9
西部B(三瀨)	102	13.7	16.7	11.8	55.9	2.0	15.7	19.6	11.8	51.0	2.0

(5) 家庭で行っている災害対策

問 23 あなたの家庭では、災害が起こった時に備え、次にあげるような対策をとっていますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)



注) \*は平成23年調査にはない項目  
( )は平成23年調査の項目

- 「保険の加入」が30.4%で1位、「家族との連絡方法の確認」が26.3%で2位。
- 「特にしていない」は37.9%で前回調査（平成26年）より6.1ポイント低くなっている。

◆ 属性別特徴

【性別】女性は「家族との連絡方法の確認」「保険の加入」などが男性より高い。男性は「特にしていない」が43.9%で女性より11ポイント高い。

【性別・年齢別】女性40歳代以上と男性70歳以上は「保険の加入」が最も高い。男性30歳代以下は「特にしていない」が5割を超えている。

【ブロック別】中央東部、中央部では「家族との連絡方法の確認」、東部A、東部B、北部Bでは「保険の加入」が他のブロックより高い。西部Bでは「特にしていない」が5割を超えている。

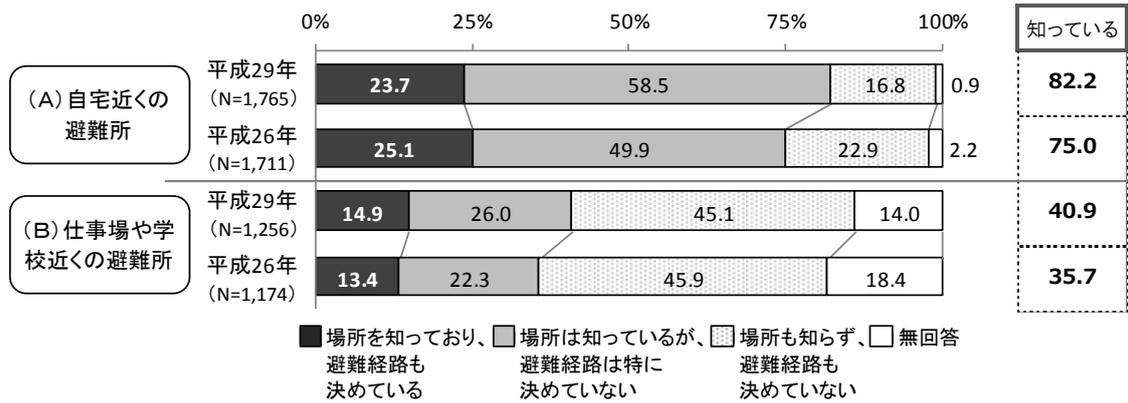
		標本数 (票)	家庭での災害時に備えた対策 (%)								無回答
			の非常 意持ち 出し袋	家族の 確認の 連絡方	の地震 加入・ 応じた 水害保 険など	建物 の耐震 化	ど家具 の転倒 防止	保入 害に 関する 方法の 確情	その他	特に してい ない	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,765)	19.5 ( 344)	26.3 ( 464)	30.4 ( 536)	10.1 ( 178)	12.8 ( 226)	14.4 ( 254)	0.8 ( 15)	37.9 ( 669)	1.1 ( 20)
性別	男性	805	18.0	24.2	28.0	8.4	10.8	14.2	0.6	43.9	1.1
	女性	955	20.7	28.1	32.5	11.5	14.5	14.6	1.0	32.9	1.2
	回答しない	5	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	40.0	-
性別× 年齢別	男性:18~29歳	94	19.1	20.2	21.3	4.3	4.3	13.8	-	54.3	1.1
	男性:30歳代	127	12.6	22.0	22.0	5.5	9.4	9.4	-	55.9	-
	男性:40歳代	151	20.5	25.2	27.8	13.2	9.9	8.6	1.3	41.1	2.0
	男性:50歳代	144	13.9	18.8	27.8	4.2	13.9	16.7	0.7	45.1	0.7
	男性:60歳代	171	18.1	25.1	32.2	9.9	12.3	18.7	-	39.2	1.2
	男性:70歳以上	118	24.6	33.9	33.9	11.9	12.7	16.9	1.7	31.4	1.7
	女性:18~29歳	140	15.7	27.9	21.4	12.1	10.7	17.9	0.7	41.4	2.1
	女性:30歳代	159	18.9	33.3	30.2	14.5	17.6	10.7	1.3	34.6	1.9
	女性:40歳代	151	21.2	22.5	33.8	13.9	15.9	14.6	1.3	29.8	0.7
	女性:50歳代	176	21.6	26.1	36.4	10.8	15.3	16.5	2.8	28.4	1.1
	女性:60歳代	200	21.0	30.5	33.5	9.5	17.0	13.5	-	31.5	-
女性:70歳以上	129	26.4	27.1	38.8	8.5	7.8	14.7	-	33.3	1.6	
	性別:回答しない	5	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	40.0	-
ブ ロ ッ ク 別	東部A	125	23.2	26.4	39.2	13.6	11.2	19.2	-	30.4	1.6
	東部B(田主丸)	105	19.0	26.7	44.8	12.4	5.7	17.1	1.0	30.5	1.0
	北部A	171	24.0	25.7	26.3	9.9	12.9	13.5	2.3	42.1	0.6
	北部B(北野)	107	17.8	28.0	38.3	12.1	15.0	24.3	-	29.9	2.8
	中央東部	219	20.1	29.2	30.6	7.8	16.4	14.6	1.8	36.5	-
	南東部	182	19.8	27.5	27.5	9.9	11.5	11.0	0.5	37.9	1.6
	中央部	224	22.3	29.5	28.1	11.2	17.9	15.6	0.4	32.1	-
	中央南部	306	20.3	24.5	23.5	8.2	13.4	11.8	1.0	41.5	2.3
	南西部	155	15.5	22.6	30.3	13.5	10.3	11.0	0.6	41.9	-
	西部A(城島)	69	8.7	24.6	33.3	5.8	4.3	20.3	-	39.1	2.9
西部B(三瀧)	102	12.7	21.6	31.4	7.8	10.8	8.8	-	53.9	1.0	

(6) 避難所の認知

問 24 久留米市では、災害が起こった時のために、校区内の公立小・中学校やコミュニティセンター、市役所関連施設などを避難所に指定しています。次の(A)(B)について、あてはまるものを選んでください。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印)

(A) 自宅近くにある避難所の場所を知っていますか。

(B) **通勤通学をされている人におたずねします** あなたの職場や学校の近くにある避難所の場所を知っていますか。



●避難所の認知は「自宅近く」は82.2%、「職場や学校近く」が40.9%で、前回調査(平成26年)より高くなっている。

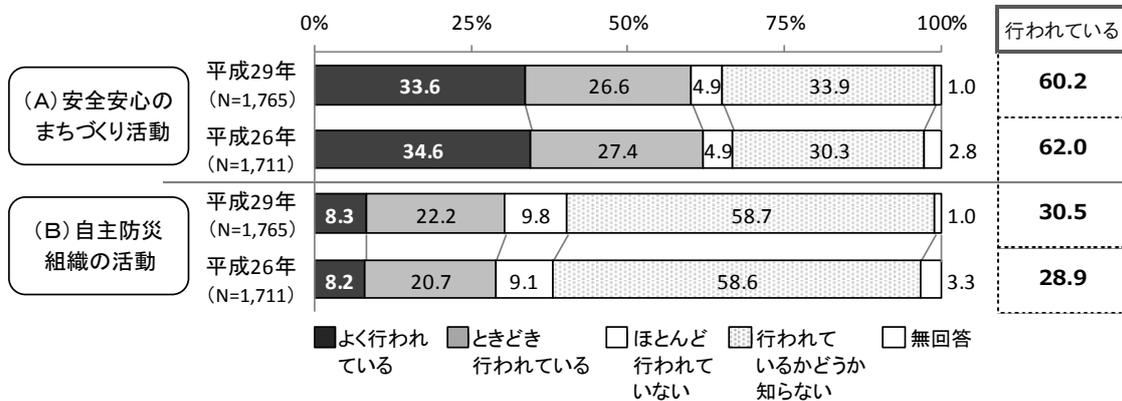
◆属性別特徴

- 【性別】(A) 自宅近くの避難所では、女性は『知っている』が85.8%と男性より7.7ポイント高い。
- 【年齢別】(A) 自宅近くの避難所では、40歳代以上で『知っている』が8割を超えている。
- 【ブロック別】(A) 自宅近くの避難所では、東部Bは『知っている』が9割を超えている。(B) 職場や学校近くの避難所では、東部B、南西部は『知っている』が約5割で他のブロックより高い。
- 【同居家族別】(A) 自宅近くの避難所では、中学生から18歳未満の子どもがいる世帯で『知っている』が他の世帯より高い。
- 【自治会加入状況別】(A) 自宅近くの避難所では、加入世帯は『知っている』が86.9%で未加入世帯より23.7ポイント高い。

	標本数(票)	(A) 自宅近くの避難所 (%)					『知っている』	標本数(票)	(B) 仕事場や学校の近くの避難所 (%)					『知っている』
		避難経路も決めており、	いらない避難経路は特に決めて	場所も知らず、避難経	場所も知らず、	無回答			避難経路も決めており、	いらない避難経路は特に決めて	場所も知らず、避難経	場所も知らず、	無回答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	23.7 (419)	58.5 (1,033)	16.8 (297)	0.9 (16)	82.2 (1,452)	100.0 (1,256)	14.9 (187)	26.0 (327)	45.1 (566)	14.0 (176)	40.9 (514)		
性別														
男性	805	22.1	56.0	21.1	0.7	78.1	637	14.4	26.5	43.8	15.2	40.9		
女性	955	25.2	60.6	13.1	1.0	85.8	616	15.4	25.5	46.3	12.8	40.9		
回答しない	5	-	60.0	40.0	-	60.0	3	-	33.3	66.7	-	33.3		
年齢別														
18~29歳	237	19.4	56.5	23.2	0.8	75.9	209	14.4	27.8	55.5	2.4	42.2		
30歳代	286	13.6	59.8	25.9	0.7	73.4	238	13.0	25.2	55.0	6.7	38.2		
40歳代	302	19.5	67.2	12.9	0.3	86.7	273	15.4	33.3	43.6	7.7	48.7		
50歳代	322	20.8	59.6	18.9	0.6	80.4	277	16.2	30.3	40.8	12.6	46.5		
60歳代	371	30.2	58.2	11.1	0.5	88.4	201	15.9	16.4	37.3	30.3	32.3		
70歳以上	247	38.9	47.4	10.9	2.8	86.3	58	12.1	1.7	20.7	65.5	13.8		
ブロック別														
東部A	125	35.2	52.8	9.6	2.4	88.0	90	21.1	16.7	41.1	21.1	37.8		
東部B(田主丸)	105	21.9	70.5	6.7	1.0	92.4	83	12.0	37.3	27.7	22.9	49.3		
北部A	171	19.9	55.0	24.0	1.2	74.9	120	12.5	29.2	45.8	12.5	41.7		
北部B(北野)	107	22.4	65.4	9.3	2.8	87.8	88	11.4	29.5	43.2	15.9	40.9		
中央東部	219	21.0	59.4	19.6	-	80.4	160	15.6	24.4	48.1	11.9	40.0		
南東部	182	16.5	70.9	11.5	1.1	87.4	118	10.2	32.2	47.5	10.2	42.4		
中央部	224	31.3	48.2	20.1	0.4	79.5	157	18.5	22.3	45.2	14.0	40.8		
中央南部	306	22.9	55.9	20.9	0.3	78.8	214	16.4	22.4	53.3	7.9	38.8		
南西部	155	25.8	60.6	12.9	0.6	86.4	104	16.3	33.7	37.5	12.5	50.0		
西部A(城島)	69	23.2	62.3	13.0	1.4	85.5	48	18.8	25.0	35.4	20.8	43.8		
西部B(三瀬)	102	21.6	52.9	24.5	1.0	74.5	74	8.1	17.6	52.7	21.6	25.7		
同居家族別														
世帯の中に就学前の子どもがいる	245	16.7	66.1	16.3	0.8	82.8	184	11.4	29.3	50.5	8.7	40.7		
世帯の中に小学生がいる	246	18.7	67.1	13.4	0.8	85.8	209	14.8	30.6	47.4	7.2	45.4		
世帯の中に中学生がいる	146	22.6	69.9	6.8	0.7	92.5	121	15.7	33.9	39.7	10.7	49.6		
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	24.6	65.3	9.6	0.6	89.9	136	16.2	39.7	36.0	8.1	55.9		
世帯の中に65歳以上の人がいる	819	29.1	56.7	12.8	1.5	85.8	457	13.1	20.4	40.7	25.8	33.5		
世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含む)	222	27.5	51.4	19.4	1.8	78.9	134	14.9	17.2	49.3	18.7	32.1		
以上にあてはまる人はいない	482	18.7	56.4	24.7	0.2	75.1	420	16.2	26.0	48.8	9.0	42.2		
無回答	7	14.3	57.1	28.6	-	71.4	4	-	-	75.0	25.0	-		
入自治会別														
加入している	1,409	25.7	61.2	12.1	0.9	86.9	976	15.0	26.9	41.7	16.4	41.9		
加入していない	193	15.5	47.7	35.8	1.0	63.2	155	12.3	25.8	54.8	7.1	38.1		
わからない	146	17.1	47.3	34.9	0.7	64.4	120	18.3	20.0	59.2	2.5	38.3		
無回答	17	11.8	52.9	35.3	-	64.7	5	-	-	60.0	40.0	-		

(7) 地域の自主的な活動

問 25 (A) あなたのお住まいの地域では、住民の自主的な交通安全活動や防犯活動、見守り活動といった、安全安心のまちづくり活動が行われていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)  
 (B) あなたのお住まいの地域では、校区コミュニティ組織などを母体とした自主防災組織の活動が行われていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



●安全安心のまちづくり活動の認知度は 60.2%、自主防災組織の活動の認知度は 30.5%。

◆属性別特徴

【年齢別】(A) 安全安心のまちづくり活動では、40 歳代は『行われている』が 64.6%と他の年齢層より高い。(B) 自主防災組織の活動では、年齢が上がるほど『行われている』が高くなる傾向にある。

【ブロック別】(A) 安全安心のまちづくり活動では、東部A、南西部、西部Aは『行われている』が7割を超えている。(B) 自主防災組織の活動では、西部Aは『行われている』が 49.3%で他のブロックより高い。

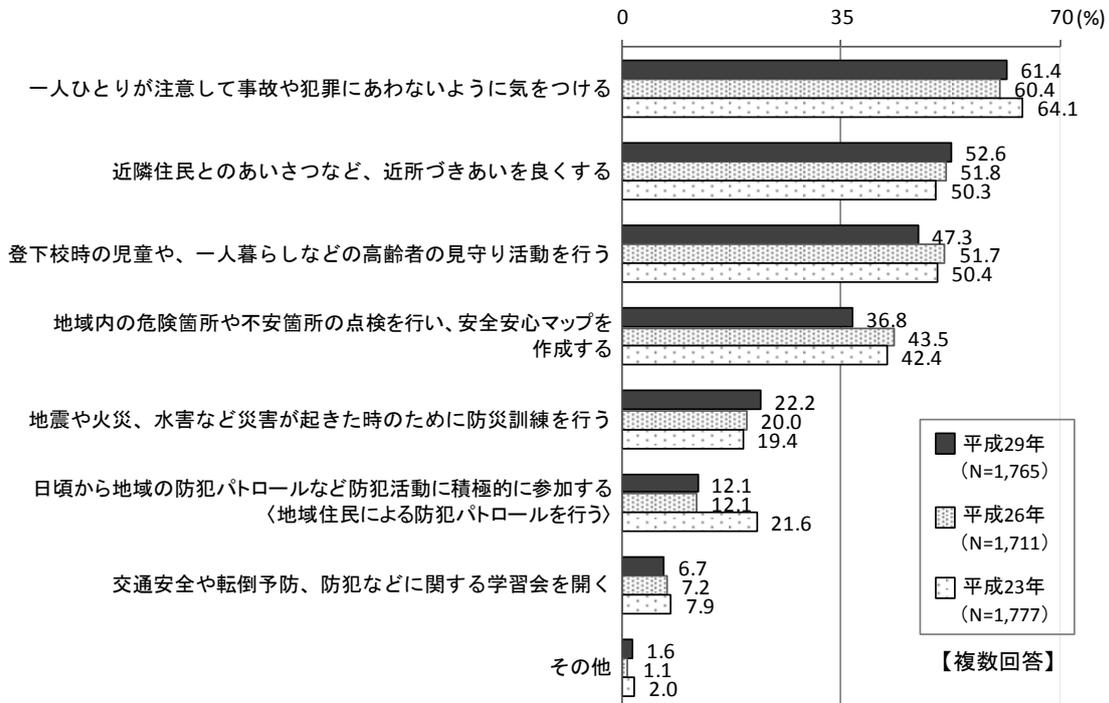
【同居家族別】(A) 安全安心のまちづくり活動、(B) 自主防災組織の活動ともに、小学生・中学生がいる世帯は『行われている』が他の世帯より高い。

【自治会加入状況別】(A) 安全安心のまちづくり活動では、加入世帯は『行われている』が 66.2%で未加入世帯より 32.5 ポイント高い。(B) 自主防災組織の活動では、加入世帯は『行われている』が 34.6%で未加入世帯より 20.6 ポイント高い。

	標本数 (票)	(A)安全安心のまちづくり活動 (%)						(B)自主防災組織の活動 (%)					
		よく 行 わ れ て い る	い と き ど き 行 わ れ て	い ほ ん ど 行 わ れ て	う 行 か わ れ て い る か ど	無 回 答	『 行 わ れ て い る 』	よく 行 わ れ て い る	い と き ど き 行 わ れ て	い ほ ん ど 行 わ れ て	う 行 か わ れ て い る か ど	無 回 答	『 行 わ れ て い る 』
全 体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	33.6 ( 593)	26.6 ( 469)	4.9 ( 87)	33.9 ( 598)	1.0 ( 18)	60.2 ( 1,062)	8.3 ( 147)	22.2 ( 391)	9.8 ( 173)	58.7 (1,036)	1.0 ( 18)	30.5 ( 538)
性別													
男性	805	33.0	26.2	6.3	33.7	0.7	59.2	8.1	22.9	11.3	57.0	0.7	31.0
女性	955	34.1	26.8	3.8	34.1	1.2	60.9	8.5	21.7	8.6	60.1	1.2	30.2
回答しない	5	20.0	40.0	-	20.0	20.0	60.0	20.0	-	-	60.0	20.0	20.0
年齢別													
18～29歳	237	23.2	26.2	4.6	45.1	0.8	49.4	5.5	16.0	7.6	70.0	0.8	21.5
30歳代	286	30.8	26.2	6.3	36.7	-	57.0	6.3	17.8	7.0	68.5	0.3	24.1
40歳代	302	38.1	26.5	3.3	31.8	0.3	64.6	7.9	24.8	7.9	58.9	0.3	32.7
50歳代	322	30.7	29.5	4.3	35.4	-	60.2	9.0	19.9	10.6	60.6	-	28.9
60歳代	371	38.3	25.6	4.6	29.6	1.9	63.9	8.6	25.1	10.5	53.6	2.2	33.7
70歳以上	247	38.1	25.1	6.9	26.7	3.2	63.2	12.6	28.3	15.4	41.3	2.4	40.9
ブロック別													
東部A	125	41.6	33.6	2.4	21.6	0.8	75.2	10.4	28.8	8.8	51.2	0.8	39.2
東部B(田主丸)	105	29.5	32.4	4.8	33.3	-	61.9	6.7	24.8	17.1	50.5	1.0	31.5
北部A	171	31.6	20.5	4.1	43.3	0.6	52.1	12.3	16.4	8.2	63.2	-	28.7
北部B(北野)	107	40.2	23.4	1.9	31.8	2.8	63.6	3.7	31.8	10.3	51.4	2.8	35.5
中央東部	219	30.1	22.4	5.0	42.5	-	52.5	7.3	19.6	7.3	65.3	0.5	26.9
南東部	182	29.1	33.0	6.0	29.7	2.2	62.1	8.2	25.8	11.0	53.3	1.6	34.0
中央部	224	26.8	27.2	6.7	36.6	2.7	54.0	5.4	18.3	8.5	65.6	2.2	23.7
中央南部	306	31.4	22.5	5.6	40.2	0.3	53.9	7.8	15.0	9.2	67.3	0.7	22.8
南西部	155	44.5	28.4	3.9	22.6	0.6	72.9	8.4	24.5	12.3	54.2	0.6	32.9
西部A(城島)	69	50.7	24.6	4.3	20.3	-	75.3	14.5	34.8	4.3	46.4	-	49.3
西部B(三潁)	102	33.3	32.4	6.9	26.5	1.0	65.7	11.8	27.5	13.7	46.1	1.0	39.3
同居家族別													
世帯の中に就学前の子どもがいる	245	36.7	22.0	6.9	33.1	1.2	58.7	9.8	22.0	7.8	59.6	0.8	31.8
世帯の中に小学生がいる	246	51.6	28.9	4.1	15.0	0.4	80.5	11.4	28.0	11.4	48.8	0.4	39.4
世帯の中に中学生がいる	146	49.3	26.0	5.5	19.2	-	75.3	14.4	24.7	13.7	47.3	-	39.1
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	43.7	24.6	4.8	26.3	0.6	68.3	10.8	26.3	12.0	50.3	0.6	37.1
世帯の中に65歳以上の人がいる	819	36.4	28.1	5.1	28.7	1.7	64.5	9.3	25.3	12.2	51.5	1.7	34.6
世帯の中に障害者手帳を持っている人がある(本人を含む)	222	32.0	27.0	5.4	32.4	3.2	59.0	9.9	21.6	14.4	52.3	1.8	31.5
以上にあてはまる人はいない	482	25.5	24.3	3.7	45.9	0.6	49.8	6.4	16.4	5.8	70.7	0.6	22.8
無回答	7	42.9	14.3	-	42.9	-	57.2	-	42.9	-	57.1	-	42.9
入自治会別													
加入している□	1,409	37.2	29.0	4.8	28.0	1.1	66.2	9.4	25.2	10.9	53.4	1.0	34.6
加入していない	193	16.1	17.6	5.7	60.1	0.5	33.7	3.1	10.9	5.7	79.3	1.0	14.0
わからない	146	20.5	17.1	6.2	55.5	0.7	37.6	4.8	6.8	5.5	82.2	0.7	11.6
無回答	17	47.1	11.8	-	41.2	-	58.9	5.9	29.4	-	58.8	5.9	35.3

(8) けがや事故、犯罪を防ぐために地域で必要な取り組みや対策

問 26 あなたは、けがや事故、犯罪などを防ぐために、個人や地域で特にどのような取り組みや対策を行うことが必要だと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



● 「一人ひとりが気をつける」が 61.4% で 1 位、「近所づきあいをよくする」「見守り活動を行う」が約 5 割で上位。

◆ 属性別特徴

【性別】女性は、「見守り活動を行う」「防災訓練を行う」「一人ひとりが気をつける」などが男性より高い。

【性別・年齢別】女性 18～29 歳は「防災訓練を行う」、女性 50 歳代以下は「見守り活動を行う」、男性 60 歳代は「近所づきあいをよくする」がそれぞれ他の年齢層より高い。

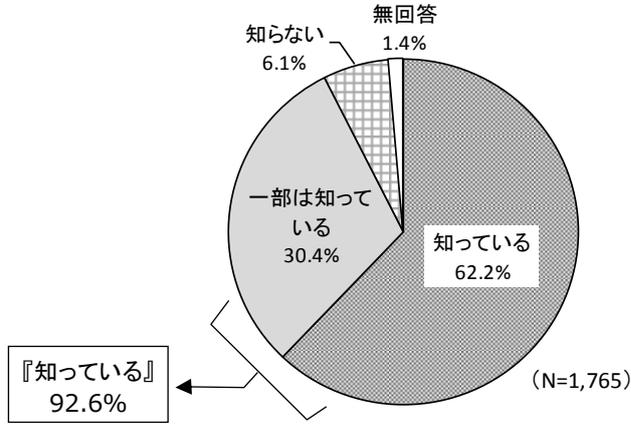
【ブロック別】東部 B では「近所づきあいを良くする」、中央部、中央南部では「一人ひとりが気をつける」、西部 A では「見守り活動を行う」がそれぞれ他のブロックより高い。

	標本数 (票)	けがや事故、犯罪などを防ぐために必要な取り組み (%)								
		安箇地 心所域 マツ点 プ検の を危 作成行 する簡 所や 不安	守暮登 りらし 活動下 を行校 うの 高 齢者 の一 見人	すど近 る、隣 近住 所民 づと の あ い を 良 く	極ロ日 的ー頃 にル から 参加 する 防 域 の 防 犯 活 動 に 積	開犯交 くなど に安全 関や する 予 防 、 学 習 会 を 防	災害地 訓が震 練起や をきた 行た うの 水 害 な ど 防 災	に故一 気や人 をつ犯 ける罪 に あ が 注 意 し て よ う 事	そ の 他	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	36.8 ( 649)	47.3 ( 835)	52.6 ( 928)	12.1 ( 214)	6.7 ( 119)	22.2 ( 392)	<b>61.4</b> (1,084)	1.6 ( 28)	1.4 ( 24)
性別										
男性	805	35.4	42.7	50.4	11.7	6.5	18.8	<b>57.0</b>	2.0	1.2
女性	955	37.9	51.3	54.6	12.5	7.0	25.2	<b>65.2</b>	1.3	1.5
回答しない	5	<b>40.0</b>	20.0	20.0	20.0	-	-	<b>40.0</b>	-	-
性別×年齢別										
男性:18~29歳	94	31.9	39.4	38.3	12.8	4.3	11.7	<b>59.6</b>	4.3	-
男性:30歳代	127	22.8	44.9	43.3	14.2	4.7	16.5	<b>63.8</b>	3.1	-
男性:40歳代	151	30.5	47.7	49.0	11.9	7.3	15.2	<b>57.0</b>	2.6	1.3
男性:50歳代	144	45.8	37.5	50.0	9.0	6.9	18.8	<b>50.7</b>	0.7	2.1
男性:60歳代	171	38.6	44.4	63.2	9.4	7.6	24.0	<b>58.5</b>	1.2	0.6
男性:70歳以上	118	40.7	40.7	51.7	14.4	6.8	23.7	<b>53.4</b>	0.8	3.4
女性:18~29歳	140	30.7	55.7	41.4	15.0	5.0	35.0	<b>66.4</b>	0.7	-
女性:30歳代	159	38.4	57.2	50.3	17.0	6.9	25.8	<b>64.2</b>	1.9	0.6
女性:40歳代	151	35.8	59.6	61.6	15.2	6.6	25.8	<b>61.6</b>	0.7	0.7
女性:50歳代	176	45.5	51.7	52.3	11.9	6.8	27.3	<b>67.0</b>	1.1	1.1
女性:60歳代	200	39.0	42.5	61.0	8.0	8.0	19.0	<b>64.5</b>	1.5	2.5
女性:70歳以上	129	35.7	42.6	58.9	8.5	8.5	20.2	<b>68.2</b>	1.6	3.9
性別:回答しない	5	<b>40.0</b>	20.0	20.0	20.0	-	-	<b>40.0</b>	-	-
ブロック別										
東部A	125	43.2	51.2	48.0	19.2	5.6	32.0	<b>57.6</b>	2.4	2.4
東部B(田主丸)	105	34.3	40.0	<b>61.0</b>	10.5	5.7	20.0	<b>58.1</b>	1.9	1.9
北部A	171	42.7	46.8	54.4	12.9	4.7	18.7	<b>59.1</b>	1.8	1.2
北部B(北野)	107	34.6	42.1	58.9	13.1	6.5	22.4	<b>61.7</b>	0.9	2.8
中央東部	219	37.0	50.7	47.9	11.0	6.8	25.6	<b>59.4</b>	2.7	0.9
南東部	182	33.5	50.0	54.4	10.4	7.1	23.6	<b>61.5</b>	1.6	1.1
中央部	224	31.7	43.8	52.2	9.4	7.6	23.7	<b>67.0</b>	0.4	1.8
中央南部	306	40.2	44.4	47.1	11.8	7.5	20.3	<b>66.3</b>	2.0	0.3
南西部	155	36.8	47.1	53.5	12.3	6.5	15.5	<b>56.1</b>	1.9	1.3
西部A(城島)	69	31.9	<b>59.4</b>	<b>59.4</b>	11.6	4.3	23.2	53.6	-	1.4
西部B(三瀨)	102	33.3	52.9	57.8	15.7	9.8	20.6	<b>63.7</b>	-	2.0

## 2-5 子どもの安全

### (1) 児童虐待の認知

問 27 あなたは、児童虐待にあたることとして、次にあげる（ア）～（エ）があることを知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



- ◆児童虐待の例◆
- (ア) 身体的虐待: 子どもを叩く・蹴る、押入れに閉じ込める、家の外に閉め出す など
  - (イ) 性的虐待: 子どもにわいせつなものを見せる など
  - (ウ) ネグレクト: 乳幼児を家に残して外出する、子どもに食事を与えない など
  - (エ) 心理的虐待: 子どもを大声でどなる、子どもに見える場所で他の家族に暴力をふるう など

●どのようなことが児童虐待にあたるかを「知っている」は 62.2%で、「一部は知っている」もあわせて認知度は 92.6%。

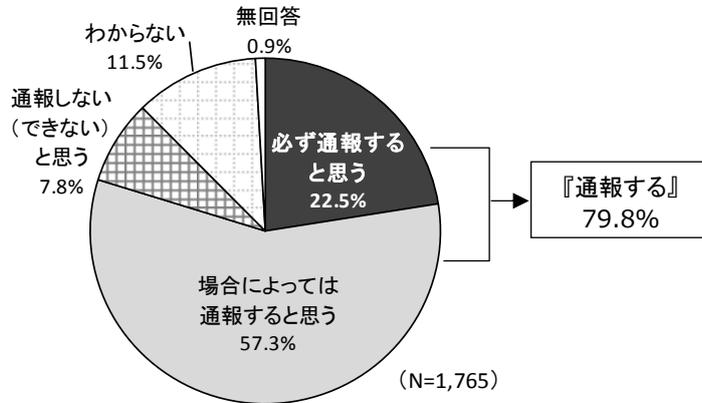
#### ◆属性別特徴

- 【性別】 女性は「知っている」が 68.5%と男性より 13.6 ポイント高い。
- 【性別・年齢別】 女性 40 歳代以下は「知っている」が 7 割を超えている。男女とも 70 歳以上は「知らない」が 1 割を超えている。
- 【ブロック別】 中央東部では「知っている」が 7 割を超えている。
- 【同居家族別】 小学生以下の子どもがいる世帯は「知っている」が 7 割弱となっている。

	標本数 (票)	児童虐待にあたる行為の認知 (%)				『知っている』		標本数 (票)	児童虐待にあたる行為の認知 (%)				『知っている』
		知っている	一部は知っている	知らない	無回答				知っている	一部は知っている	知らない	無回答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	62.2 (1,097)	30.4 (536)	6.1 (108)	1.4 (24)	92.6 (1,633)	全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	62.2 (1,097)	30.4 (536)	6.1 (108)	1.4 (24)	92.6 (1,633)
性別							東部A	125	60.0	33.6	4.8	1.6	93.6
男性	805	54.9	35.8	8.1	1.2	90.7	東部B(田主丸)	105	59.0	32.4	8.6	-	91.4
女性	955	68.5	25.7	4.4	1.5	94.2	北部A	171	59.1	32.2	8.8	-	91.3
回答しない	5	20.0	60.0	20.0	-	80.0	北部B(北野)	107	60.7	29.9	6.5	2.8	90.6
性別×年齢別							中央東部	219	72.6	23.7	3.2	0.5	96.3
男性:18~29歳	94	51.1	38.3	9.6	1.1	89.4	南東部	182	60.4	33.0	4.9	1.6	93.4
男性:30歳代	127	60.6	32.3	5.5	1.6	92.9	中央部	224	63.8	29.5	4.5	2.2	93.3
男性:40歳代	151	58.9	31.1	8.6	1.3	90.0	中央南部	306	61.4	29.1	7.8	1.6	90.5
男性:50歳代	144	50.0	45.1	3.5	1.4	95.1	南西部	155	57.4	33.5	7.1	1.9	90.9
男性:60歳代	171	51.5	39.2	8.8	0.6	90.7	西部A(城島)	69	59.4	34.8	5.8	-	94.2
男性:70歳以上	118	57.6	27.1	13.6	1.7	84.7	西部B(三瀬)	102	62.7	29.4	5.9	2.0	92.1
女性:18~29歳	140	77.9	20.0	2.1	-	97.9	世帯の中に就学前の子どもがいる	245	69.0	28.6	2.0	0.4	97.6
女性:30歳代	159	74.8	23.9	0.6	0.6	98.7	世帯の中に小学生がいる	246	69.5	25.2	4.1	1.2	94.7
女性:40歳代	151	74.2	23.2	2.6	-	97.4	世帯の中に中学生がいる	146	63.0	32.2	2.7	2.1	95.2
女性:50歳代	176	67.0	28.4	4.5	-	95.4	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	65.9	28.1	4.8	1.2	94.0
女性:60歳代	200	65.0	27.0	5.0	3.0	92.0	世帯の中に65歳以上の人がいる	819	59.2	31.5	7.2	2.1	90.7
女性:70歳以上	129	51.2	31.0	12.4	5.4	82.2	世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含む)	222	64.4	25.7	7.7	2.3	90.1
性別:回答しない	5	20.0	60.0	20.0	-	80.0	以上にあてはまる人はいない	482	61.4	30.7	7.5	0.4	92.1
							同居家族別	7	42.9	42.9	14.3	-	85.8
							無回答						

(2) 児童虐待に気づいたら通報するか

問 28 あなたは、児童虐待が行われていることに気づいたとき（虐待かもしれないと思ったとき）、どこかに通報しますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



●『通報する』は79.8%、一方、しない(できない)は7.8%。

◆属性別特徴

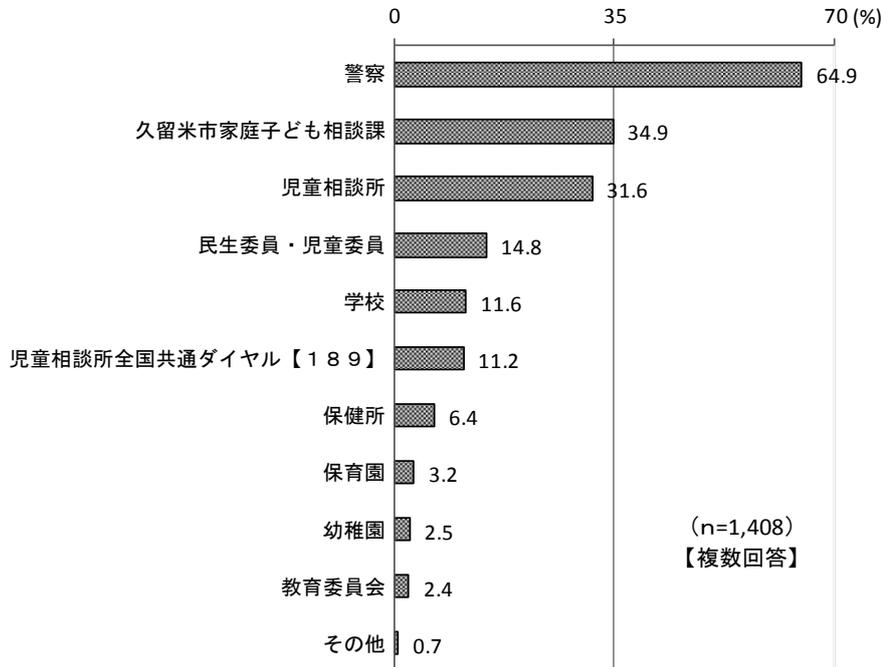
【性別・年齢別】男性40歳代以上と女性40歳代以下は『通報する』が8割を超えている。

【ブロック別】東部A、中央東部、南東部、西部Bでは『通報する』が8割を超えている。

	標本数 (票)	児童虐待に気づいたときの通報の有無 (%)					『通報する』 (票)
		必ず 通報 すると 思う	場合 によつ ては 思 う	き な い ( 思 う で ない)	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	22.5 (397)	57.3 (1,011)	7.8 (138)	11.5 (203)	0.9 (16)	79.8 (1,408)
性別							
男性	805	23.1	58.8	6.5	10.7	1.0	81.9
女性	955	22.1	56.1	8.9	12.0	0.8	78.2
回答しない	5	-	40.0	20.0	40.0	-	40.0
性別×年齢別							
男性:18~29歳	94	26.6	46.8	6.4	18.1	2.1	73.4
男性:30歳代	127	13.4	65.4	10.2	11.0	-	78.8
男性:40歳代	151	27.2	57.6	4.6	9.9	0.7	84.8
男性:50歳代	144	21.5	63.9	4.9	9.0	0.7	85.4
男性:60歳代	171	19.9	62.0	7.6	9.4	1.2	81.9
男性:70歳以上	118	32.2	51.7	5.1	9.3	1.7	83.9
女性:18~29歳	140	27.1	53.6	7.9	11.4	-	80.7
女性:30歳代	159	22.0	59.7	10.7	6.9	0.6	81.7
女性:40歳代	151	25.8	54.3	10.6	9.3	-	80.1
女性:50歳代	176	19.3	59.1	5.7	15.3	0.6	78.4
女性:60歳代	200	20.5	57.0	8.0	14.0	0.5	77.5
女性:70歳以上	129	18.6	51.2	11.6	14.7	3.9	69.8
性別:回答しない	5	-	40.0	20.0	40.0	-	40.0
ブロック別							
東部A	125	28.0	52.8	8.8	9.6	0.8	80.8
東部B(田主丸)	105	22.9	52.4	13.3	9.5	1.9	75.3
北部A	171	19.9	59.6	9.9	9.4	1.2	79.5
北部B(北野)	107	23.4	52.3	13.1	10.3	0.9	75.7
中央東部	219	23.3	61.6	5.9	9.1	-	84.9
南東部	182	21.4	61.0	7.1	8.8	1.6	82.4
中央部	224	25.4	53.1	7.6	12.5	1.3	78.5
中央南部	306	22.5	56.2	7.5	13.7	-	78.7
南西部	155	20.6	58.1	5.2	14.8	1.3	78.7
西部A(城島)	69	14.5	63.8	4.3	17.4	-	78.3
西部B(三瀨)	102	20.6	59.8	4.9	12.7	2.0	80.4

(3) 児童虐待の通報先

問 28 付問 1 **問 28 で 1 または 2 に回答した人に** どこに通報しますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



●「警察」が 64.9% で最も高く、「久留米市家庭子ども相談課」「児童相談所」が 3 割を超え上位。

◆属性別特徴

【性別】男性は「警察」などが女性より高く、女性は「久留米市家庭子ども相談課」「児童相談所」などが男性より高い。

【性別・年齢別】女性 18～29 歳は「保健所」、女性 30 歳代以下は「児童相談所」、女性 30～50 歳代は「久留米市家庭子ども相談課」、男女 70 歳以上は「民生委員・児童委員」が他の年齢層より高い。

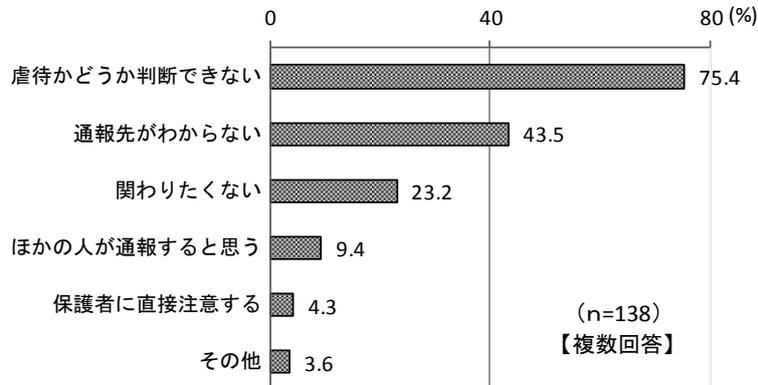
【ブロック別】中央東部、南東部、中央部、西部 B では「久留米市家庭子ども相談課」、西部 A では「民生委員・児童委員」が他のブロックより高い。

【同居家族別】中学生以下の子どもがいる世帯は「久留米市家庭子ども相談課」「児童相談所」、小学生がいる世帯は「学校」、65 歳以上の人がいる世帯と障害者手帳所持者がいる世帯は「民生委員・児童委員」が他の世帯より高い。

		標本数(票)	児童虐待に気づいたときの通報先(%)											
			子ども 相談課	久留米市 家庭子 保健所	教育 委員会	児童 相談所	【1 8 9 】 共通 ダイヤ ル 【 8 9 】 児童 相談 所 全 国	警察	学校	幼稚園	保育園	民生 委員 ・ 児童 委員	その他	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,408)	34.9 (492)	6.4 (90)	2.4 (34)	31.6 (445)	11.2 (158)	64.9 (914)	11.6 (163)	2.5 (35)	3.2 (45)	14.8 (208)	0.7 (10)	0.2 (3)
性別	男性	659	31.7	5.9	2.7	29.6	8.0	71.6	10.5	2.3	3.2	13.5	0.8	0.2
	女性	747	37.8	6.8	2.1	33.2	14.1	58.9	12.6	2.7	3.2	15.9	0.7	0.3
	回答しない	2	50.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
性別× 年齢別	男性:18~29歳	69	30.4	10.1	1.4	24.6	7.2	78.3	5.8	-	4.3	-	-	-
	男性:30歳代	100	35.0	8.0	3.0	29.0	6.0	66.0	11.0	5.0	6.0	2.0	1.0	-
	男性:40歳代	128	39.1	10.2	0.8	35.9	3.9	69.5	10.2	1.6	2.3	7.8	-	0.8
	男性:50歳代	123	26.0	3.3	1.6	26.8	13.0	73.2	11.4	3.3	4.1	9.8	1.6	-
	男性:60歳代	140	32.1	4.3	4.3	27.1	10.7	77.9	10.7	2.1	2.1	22.1	-	-
	男性:70歳以上	99	26.3	1.0	5.1	32.3	6.1	64.6	12.1	1.0	1.0	34.3	2.0	-
	女性:18~29歳	113	32.7	15.0	1.8	43.4	15.0	64.6	10.6	3.5	4.4	2.7	0.9	-
	女性:30歳代	130	43.8	6.9	-	41.5	12.3	53.1	11.5	3.1	3.8	3.8	0.8	0.8
	女性:40歳代	121	46.3	6.6	1.7	28.9	19.0	58.7	15.7	2.5	5.0	2.5	-	-
	女性:50歳代	138	42.0	5.1	3.6	32.6	13.8	59.4	13.8	4.3	4.3	17.4	2.2	-
	女性:60歳代	155	34.8	4.5	2.6	27.1	14.2	62.6	10.3	1.9	1.3	26.5	-	-
	女性:70歳以上	90	22.2	3.3	3.3	25.6	8.9	53.3	14.4	-	-	47.8	-	1.1
性別:回答しない	2	50.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
ブ ロ ッ ク 別	東部A	101	32.7	3.0	-	32.7	15.8	61.4	12.9	1.0	3.0	24.8	2.0	-
	東部B(田主丸)	79	29.1	8.9	2.5	19.0	6.3	64.6	13.9	2.5	2.5	17.7	-	1.3
	北部A	136	35.3	5.1	-	25.0	16.2	64.7	11.0	2.2	2.9	10.3	-	-
	北部B(北野)	81	29.6	7.4	2.5	27.2	4.9	63.0	14.8	3.7	4.9	19.8	-	-
	中央東部	186	38.2	7.0	4.8	34.9	12.4	60.8	10.8	2.2	3.2	10.2	1.6	0.5
	南東部	150	38.0	6.7	-	36.7	7.3	65.3	14.7	2.7	2.0	17.3	-	-
	中央部	176	39.8	4.0	4.0	34.7	10.2	68.8	10.2	4.5	4.5	7.4	-	-
	中央南部	241	32.4	8.7	3.3	36.1	12.0	66.8	7.1	0.8	1.7	12.4	1.7	-
	南西部	122	32.0	4.9	2.5	24.6	9.0	68.0	12.3	3.3	4.1	16.4	-	0.8
	西部A(城島)	54	29.6	7.4	1.9	27.8	16.7	63.0	16.7	5.6	7.4	31.5	-	-
西部B(三潁)	82	40.2	7.3	2.4	34.1	12.2	63.4	13.4	1.2	2.4	17.1	1.2	-	
同 居 家 族 別	世帯の中に就学前の子どもがいる	199	41.2	11.6	1.5	34.7	10.1	61.3	12.1	3.5	6.5	1.5	0.5	0.5
	世帯の中に小学生がいる	205	42.9	8.8	1.5	39.0	9.3	54.6	21.5	6.3	7.3	3.9	1.0	1.0
	世帯の中に中学生がいる	124	48.4	4.8	1.6	39.5	12.1	60.5	16.9	2.4	3.2	6.5	0.8	-
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	141	34.8	12.8	2.8	34.8	8.5	66.7	15.6	2.1	2.8	10.6	-	-
	世帯の中に65歳以上の人がいる	652	30.8	4.3	3.4	31.4	9.8	65.5	12.3	2.3	2.6	24.4	0.6	0.2
	世帯の中に障害者手帳を持っている人がある(本人を含む)	177	26.6	7.9	2.3	31.6	8.5	67.2	13.0	2.8	2.8	21.5	-	-
	以上にあてはまる人はいない	374	37.7	6.7	1.9	28.1	14.7	65.5	7.8	1.3	1.6	8.8	1.1	-
無回答	6	66.7	16.7	-	50.0	16.7	66.7	16.7	16.7	33.3	33.3	-	-	

(4) 通報できない理由

問 28 付問 2 **問 28 で 3 に回答した人に** 通報しない（できない）理由は何ですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）



● 「虐待かどうか判断できない」が 75.4%で最も高く、「通報先がわからない」が 43.5%で 2 位。

◆属性別特徴

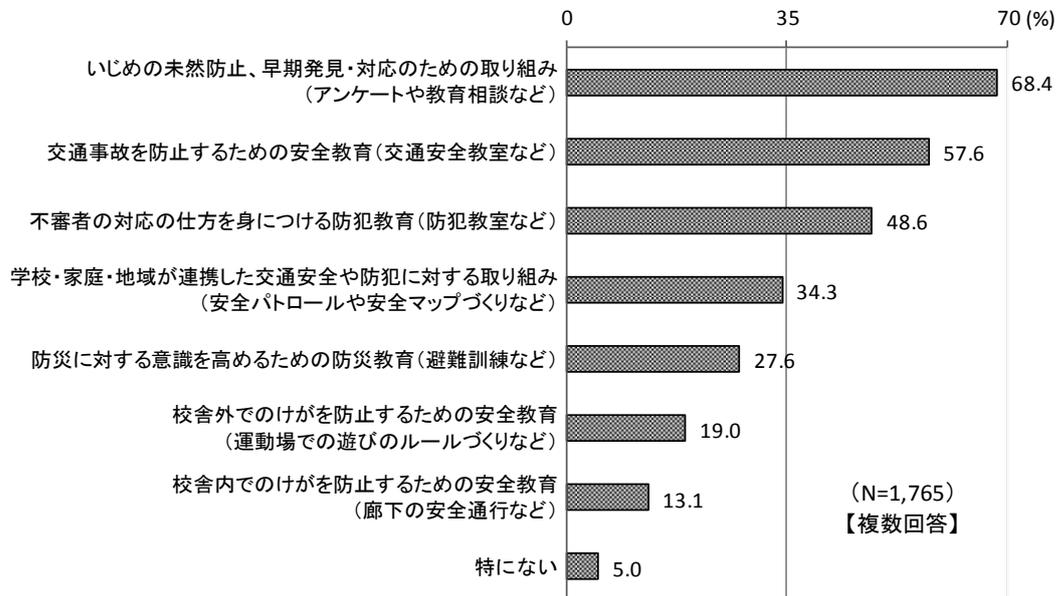
【性別】女性は「通報先がわからない」が 50.6%で男性より 17.9 ポイント高い。男性は「関わりたくない」が 26.9%で女性より 6.9 ポイント高い。

【年齢別】50 歳代は「関わりたくない」が 41.2%で他の年齢層より高い。

	標本数 (票)	通報をしない理由 (%)						
		な い 通 報 先 が わ か ら い	す ほ か の 人 が 思 わ れ な い と 思 う	関 わ り た く な い	意 保 護 者 に 直 接 注 意	断 然 で き な い と 判 断	そ の 他	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 ( 138)	43.5 ( 60)	9.4 ( 13)	23.2 ( 32)	4.3 ( 6)	75.4 ( 104)	3.6 ( 5)	0.7 ( 1)
性別								
男性	52	32.7	9.6	26.9	5.8	73.1	3.8	-
女性	85	50.6	9.4	20.0	3.5	76.5	3.5	1.2
回答しない	1	-	-	100.0	-	100.0	-	-
年齢別								
18～29歳	18	44.4	5.6	33.3	-	61.1	-	-
30歳代	30	43.3	13.3	20.0	3.3	76.7	3.3	-
40歳代	23	52.2	4.3	13.0	8.7	82.6	8.7	-
50歳代	17	52.9	11.8	41.2	-	64.7	5.9	5.9
60歳代	29	44.8	10.3	27.6	6.9	75.9	3.4	-
70歳以上	21	23.8	9.5	9.5	4.8	85.7	-	-

(5) 小・中学校で力を入れてほしい安全への取り組み

問 29 久留米市内の小・中学校では、「子どもの安全」をテーマにした様々な教育活動や取り組みを展開しています。あなたは、次の教育活動や取り組みのうち、特にどれに力を入れてほしいと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



● 「いじめの未然防止、早期発見・対応のための取り組み」が68.4%で最も高い。

◆属性別特徴

【性別】 女性は全ての項目で男性より高い。

【性別・年齢別】 女性30歳代以下は「(校舎内・外での)けがの防止のための安全教育」「交通事故防止のための安全教育」、女性30歳代は「不審者への対応などの防犯教育」、男性30歳代は「交通事故防止のための安全教育」が他の年齢層より高い。

【ブロック別】 中央東部では「不審者への対応などの防犯教育」「いじめ未然防止などの取り組み」、南東部では「校舎外でのけがの防止のための安全教育」「防災教育」、南西部では「交通事故防止のための安全教育」が他のブロックより高い。

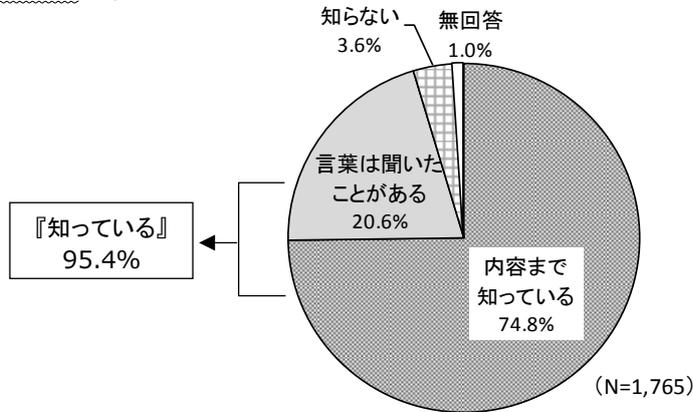
【同居家族別】 就学前の子どもがいる世帯は「防災教育」「交通事故防止のための安全教育」「不審者への対応などの防犯教育」、小学生・中学生がいる世帯は「いじめ未然防止などの取り組み」が他の世帯より高い。

		標本数 (票)	子どもの安全のために小・中学校で特に力を入れてほしい取り組み (%)								無回答
			学校の安全教育 (廊下など)	校舎外での教育 (運動場など)	防災に対する意識を高めるための教育 (避難訓練など)	交通事故を防止するための交通安全教育 (交通安全教室など)	不審者の対応の仕方身につける教育 (防犯教室など)	対応のための取り組み (アンケ)	いじめの未然防止、早期発見 (ア)	交通安全・家庭・地域が連携した取り組み	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,765)	13.1 ( 231)	19.0 ( 335)	27.6 ( 488)	57.6 ( 1,016)	48.6 ( 858)	68.4 ( 1,207)	34.3 ( 606)	5.0 ( 89)	4.0 ( 71)
性別	男性	805	11.7	17.4	22.5	57.3	43.0	65.2	32.7	5.8	4.7
	女性	955	14.2	20.4	31.9	58.0	53.5	71.1	35.8	4.4	3.5
	回答しない	5	20.0	-	40.0	20.0	20.0	60.0	20.0	-	-
性別×年齢別	男性:18~29歳	94	11.7	18.1	18.1	46.8	42.6	51.1	25.5	12.8	2.1
	男性:30歳代	127	15.7	18.9	26.8	63.8	46.5	66.9	29.1	7.1	4.7
	男性:40歳代	151	13.9	15.2	21.2	58.9	49.7	70.2	28.5	2.6	3.3
	男性:50歳代	144	12.5	16.0	25.0	60.4	43.1	67.4	36.8	4.9	4.9
	男性:60歳代	171	7.6	18.1	19.9	55.0	39.8	66.7	34.5	5.3	6.4
	男性:70歳以上	118	9.3	18.6	23.7	55.9	35.6	63.6	39.8	5.1	5.9
	女性:18~29歳	140	17.1	27.9	32.9	64.3	59.3	67.1	35.7	4.3	3.6
	女性:30歳代	159	17.0	25.8	35.8	65.4	71.7	77.4	40.9	1.9	1.9
	女性:40歳代	151	11.9	17.2	33.8	61.6	56.3	71.5	33.1	1.3	4.0
	女性:50歳代	176	13.6	18.8	36.9	56.3	52.3	71.6	39.2	8.0	1.1
	女性:60歳代	200	13.0	17.0	26.5	54.0	46.5	75.0	34.0	4.0	3.0
	女性:70歳以上	129	13.2	17.1	25.6	46.5	34.1	60.5	31.0	7.0	8.5
	性別:回答しない	5	20.0	-	40.0	20.0	20.0	60.0	20.0	-	-
ブロック別	東部A	125	13.6	21.6	29.6	60.0	48.0	70.4	38.4	3.2	2.4
	東部B(田主丸)	105	9.5	13.3	26.7	49.5	41.9	62.9	33.3	9.5	3.8
	北部A	171	10.5	13.5	26.9	50.9	48.0	66.1	32.2	5.8	6.4
	北部B(北野)	107	7.5	16.8	23.4	59.8	50.5	59.8	32.7	6.5	3.7
	中央東部	219	16.4	21.5	26.0	61.2	58.4	75.3	31.5	2.7	2.7
	南東部	182	19.8	29.1	36.3	64.3	47.3	72.0	34.1	3.3	3.3
	中央部	224	12.5	17.9	29.9	56.7	44.6	62.9	34.8	6.3	4.0
	中央南部	306	11.1	17.3	27.1	54.6	49.7	68.0	35.3	7.5	3.9
	南西部	155	12.3	18.7	21.9	67.7	46.5	66.5	36.1	2.6	2.6
	西部A(城島)	69	10.1	14.5	21.7	47.8	39.1	68.1	33.3	-	11.6
	西部B(三瀧)	102	17.6	20.6	29.4	53.9	52.0	79.4	36.3	4.9	3.9
同居家族別	世帯の中に就学前の子どもがいる	245	19.6	26.9	37.1	69.8	68.2	74.3	39.6	1.2	2.9
	世帯の中に小学生がいる	246	18.3	26.0	29.3	62.2	58.9	79.3	33.7	-	2.4
	世帯の中に中学生がいる	146	14.4	17.1	28.8	59.6	54.8	77.4	35.6	1.4	2.1
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	14.4	19.2	37.1	56.9	56.9	72.5	37.7	4.2	1.8
	世帯の中に65歳以上の人がいる	819	10.7	17.0	24.1	55.8	43.5	64.7	33.0	5.1	5.4
	世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含む)	222	16.2	23.0	29.3	59.5	43.7	68.0	37.4	4.1	5.9
	以上にあてはまる人はいない	482	12.7	16.8	26.8	54.4	46.7	65.4	33.4	7.7	4.4
	無回答	7	28.6	28.6	28.6	100.0	71.4	57.1	57.1	-	-

## 2-6 DV (ドメスティック・バイオレンス) 防止

### (1) DVの認知

問 30 あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉や内容を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



●DV (ドメスティック・バイオレンス) の認知度は 95.4%。

#### ◆属性別特徴

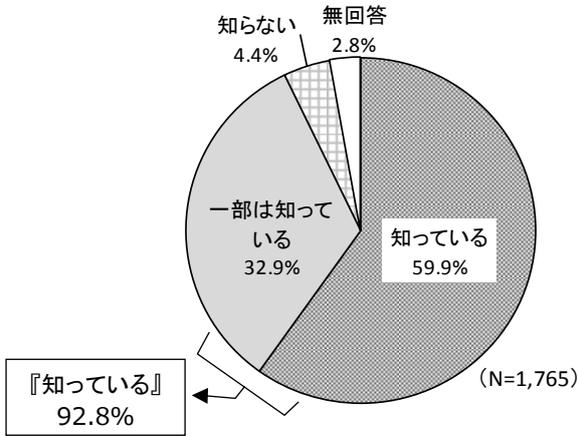
【性別】 女性は「内容まで知っている」が78.4%で男性より7.8ポイント高い。

【性別・年齢別】 女性40歳代以下は「内容まで知っている」が9割前後と高い。

【ブロック別】 中央東部では「内容まで知っている」が82.2%と他のブロックより高く、西部Aでは58.0%と低い。

	標本数 (票)	DVの言葉や内容の認知 (%)					『知っている』
		内容まで知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	74.8 (1,320)	20.6 (363)	3.6 (64)	1.0 (18)	95.4 (1,683)	
性別							
男性	805	70.6	24.0	4.0	1.5	94.6	
女性	955	78.4	17.7	3.2	0.6	96.1	
回答しない	5	60.0	20.0	20.0	-	80.0	
性別×年齢別							
男性:18~29歳	94	64.9	28.7	5.3	1.1	93.6	
男性:30歳代	127	82.7	16.5	0.8	-	99.2	
男性:40歳代	151	80.8	16.6	0.7	2.0	97.4	
男性:50歳代	144	71.5	25.0	2.8	0.7	96.5	
男性:60歳代	171	65.5	28.7	2.9	2.9	94.2	
男性:70歳以上	118	55.1	29.7	13.6	1.7	84.8	
女性:18~29歳	140	88.6	10.0	-	1.4	98.6	
女性:30歳代	159	91.2	8.8	-	-	100.0	
女性:40歳代	151	91.4	6.6	0.7	1.3	98.0	
女性:50歳代	176	80.1	19.3	0.6	-	99.4	
女性:60歳代	200	70.5	25.5	4.0	-	96.0	
女性:70歳以上	129	46.5	35.7	16.3	1.6	82.2	
性別:回答しない	5	60.0	20.0	20.0	-	80.0	
ブロック別							
東部A	125	72.8	23.2	3.2	0.8	96.0	
東部B(田主丸)	105	74.3	21.0	4.8	-	95.3	
北部A	171	76.6	16.4	5.8	1.2	93.0	
北部B(北野)	107	72.0	22.4	4.7	0.9	94.4	
中央東部	219	82.2	15.5	1.8	0.5	97.7	
南東部	182	74.7	19.8	5.5	-	94.5	
中央部	224	77.7	17.4	4.0	0.9	95.1	
中央南部	306	74.5	22.5	1.6	1.3	97.0	
南西部	155	72.9	22.6	3.2	1.3	95.5	
西部A(城島)	69	58.0	34.8	2.9	4.3	92.8	
西部B(三瀧)	102	70.6	22.5	4.9	2.0	93.1	

問 31 あなたは、夫婦や恋人（元夫婦、元恋人を含む）間の、次にあげる（ア）～（オ）のような行為をDV（ドメスティック・バイオレンス）だと知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



- ◆DV（ドメスティック・バイオレンス）の例◆
- (ア) 身体的暴力：殴る、蹴る、首を絞める など
  - (イ) 精神的暴力：「誰のおかげで生活できている！」と言う、大声で怒鳴る、何を言っても無視するなど
  - (ウ) 性的暴力：望まない性交渉を強要する、避妊に協力しない など
  - (エ) 経済的暴力：生活費を渡さない、生活費を細かくチェックするなど
  - (オ) 社会的暴力：身内や友人との付き合いを制限する、携帯電話・スマートフォンの履歴やメールを細かくチェックするなど

●どのようなことがDVにあたるのかを「知っている」は 59.9%で、「一部は知っている」もあわせた認知度は 92.8%。

◆属性別特徴

【性別】女性は「知っている」が 63.0%で男性より 6.9 ポイント高い。

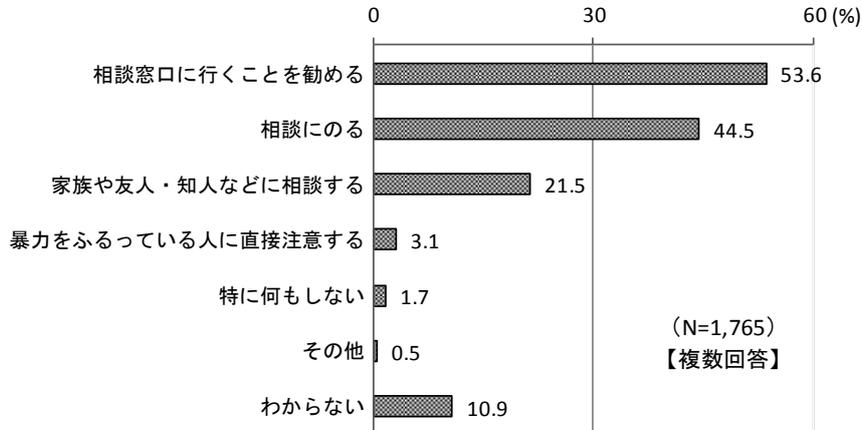
【性別・年齢別】女性 30～50 歳代は「知っている」が 7 割前後と高い。

【ブロック別】中央東部、南東部、中央部、中央南部では「知っている」が 6 割を超えている。

	標本数 (票)	DVにあたる行為の認知 (%)				『知っている』
		知っている	一部は知っている	知らない	無回答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	59.9 (1,057)	32.9 (581)	4.4 (77)	2.8 (50)	92.8 (1,638)
性別						
男性	805	56.1	35.4	5.1	3.4	91.5
女性	955	63.0	30.9	3.7	2.4	93.9
回答しない	5	60.0	20.0	20.0	-	80.0
性別×年齢別						
男性:18～29歳	94	52.1	39.4	7.4	1.1	91.5
男性:30歳代	127	55.9	41.7	1.6	0.8	97.6
男性:40歳代	151	65.6	28.5	3.3	2.6	94.1
男性:50歳代	144	58.3	34.7	4.2	2.8	93.0
男性:60歳代	171	54.4	36.3	4.1	5.3	90.7
男性:70歳以上	118	47.5	33.9	11.9	6.8	81.4
女性:18～29歳	140	64.3	33.6	0.7	1.4	97.9
女性:30歳代	159	71.7	27.7	-	0.6	99.4
女性:40歳代	151	68.2	27.8	0.7	3.3	96.0
女性:50歳代	176	72.2	26.7	0.6	0.6	98.9
女性:60歳代	200	55.5	34.5	6.0	4.0	90.0
女性:70歳以上	129	44.2	35.7	15.5	4.7	79.9
性別:回答しない	5	60.0	20.0	20.0	-	80.0
ブロック別						
東部A	125	59.2	33.6	4.8	2.4	92.8
東部B(田主丸)	105	49.5	40.0	5.7	4.8	89.5
北部A	171	59.1	32.7	4.7	3.5	91.8
北部B(北野)	107	57.0	36.4	5.6	0.9	93.4
中央東部	219	65.8	28.8	2.3	3.2	94.6
南東部	182	62.1	29.7	6.6	1.6	91.8
中央部	224	62.5	29.0	4.0	4.5	91.5
中央南部	306	61.4	32.0	4.2	2.3	93.4
南西部	155	59.4	35.5	3.9	1.3	94.9
西部A(城島)	69	44.9	46.4	4.3	4.3	91.3
西部B(三瀬)	102	59.8	34.3	2.9	2.9	94.1

(2) 身近にDVを見聞きしたときの対応

問 32 あなたは、身近な人が問 31 のような行為を受けているのを、見たり聞いたりしたらどうしますか。  
(あてはまる番号にいくつでも○印)



● 「相談窓口に行くことを勧める」が 53.6%で最も高く、「相談にのる」が 44.5%で2位。

◆属性別特徴

【性別】女性は「相談窓口に行くことを勧める」などが男性より高い。

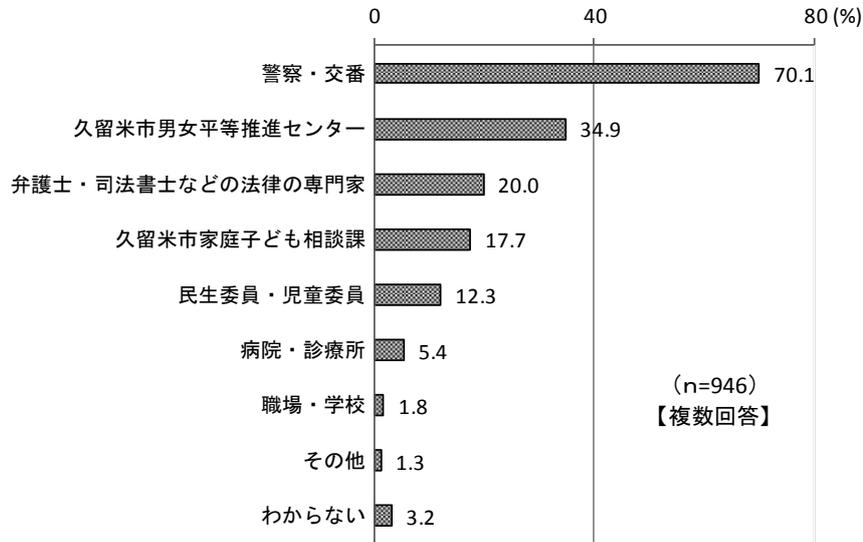
【性別・年齢別】男女 40 歳代以下は「相談にのる」、女性 30・40 歳代は「家族や友人・知人などに相談する」、女性 40・50 歳代は「相談窓口に行くことを勧める」が他の年齢層より高い。

【ブロック別】東部A、中央東部、中央部では「相談にのる」、東部A、西部Aでは「家族や友人・知人などに相談する」、中央東部では「相談窓口に行くことを勧める」が他のブロックより高い。

	標本数 (票)	DVを見聞きした時の対処 (%)							
		相談に のる	相談窓 口に行 く	家族や 友人に 相談す る	家族や 友人に 直接つ いて	暴力を ふるつ て	特に何 もしな い	その他	わから ない
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	44.5 ( 786)	<b>53.6</b> ( 946)	21.5 ( 379)	3.1 ( 54)	1.7 ( 30)	0.5 ( 8)	10.9 ( 193)	1.5 ( 27)
性別									
男性	805	41.7	<b>49.4</b>	18.5	4.7	2.2	0.4	12.2	1.6
女性	955	46.8	<b>57.2</b>	24.0	1.7	1.3	0.5	9.8	1.5
回答しない	5	<b>60.0</b>	40.0	20.0	-	-	-	20.0	-
性別×年齢別									
男性:18~29歳	94	<b>57.4</b>	34.0	23.4	5.3	2.1	-	13.8	2.1
男性:30歳代	127	<b>59.1</b>	40.9	20.5	6.3	3.1	1.6	10.2	0.8
男性:40歳代	151	<b>51.0</b>	47.0	16.6	4.0	2.6	-	4.6	2.0
男性:50歳代	144	41.0	<b>52.8</b>	14.6	4.2	0.7	-	14.6	0.7
男性:60歳代	171	27.5	<b>59.1</b>	17.0	4.7	3.5	-	14.0	2.3
男性:70歳以上	118	20.3	<b>55.9</b>	22.0	4.2	0.8	0.8	16.9	1.7
女性:18~29歳	140	<b>69.3</b>	53.6	20.7	0.7	-	0.7	5.0	1.4
女性:30歳代	159	<b>66.7</b>	55.3	29.6	3.8	-	-	5.7	-
女性:40歳代	151	57.0	<b>61.6</b>	29.8	2.6	0.7	0.7	6.6	1.3
女性:50歳代	176	45.5	<b>66.5</b>	21.6	1.1	1.1	0.6	6.8	0.6
女性:60歳代	200	29.5	<b>55.5</b>	19.5	0.5	4.0	0.5	14.0	0.5
女性:70歳以上	129	14.7	<b>48.1</b>	24.0	1.6	0.8	0.8	21.7	6.2
性別:回答しない	5	<b>60.0</b>	40.0	20.0	-	-	-	20.0	-
ブロック別									
東部A	125	48.0	<b>51.2</b>	28.0	2.4	0.8	-	8.8	0.8
東部B(田主丸)	105	42.9	<b>55.2</b>	20.0	2.9	1.9	1.0	10.5	1.9
北部A	171	39.2	<b>52.6</b>	18.7	1.8	2.9	-	12.3	2.3
北部B(北野)	107	43.9	<b>51.4</b>	23.4	4.7	1.9	-	14.0	0.9
中央東部	219	48.4	<b>58.9</b>	19.2	3.7	2.3	0.5	7.8	0.9
南東部	182	46.2	<b>48.4</b>	22.5	4.9	1.6	0.5	11.0	0.5
中央部	224	47.8	<b>53.1</b>	16.5	1.3	0.4	0.9	12.9	1.8
中央南部	306	45.1	<b>56.5</b>	20.6	3.6	2.3	0.7	11.8	1.0
南西部	155	41.9	<b>53.5</b>	25.2	3.9	2.6	0.6	9.7	1.3
西部A(城島)	69	34.8	<b>52.2</b>	27.5	1.4	-	-	8.7	5.8
西部B(三瀬)	102	42.2	<b>50.0</b>	24.5	2.0	-	-	11.8	2.9

(3) 相談を勧める先

問 32 付問 **問 32 で 2 に回答した人に** どこに相談することを勧めますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



●相談することを勧める先では「警察・交番」が70.1%で最も高い。

◆属性別特徴

【性別】男性は「警察・交番」が80.7%で女性より18.2ポイント高い。女性は「久留米市男女平等推進センター」が42.1%で男性より17.5ポイント高い。

【性別・年齢別】男性50歳代以下は「警察・交番」が8割を超え高い。女性60歳代以下は「久留米市男女平等推進センター」、男女70歳以上は「民生委員・児童委員」が他の年齢層より高い。

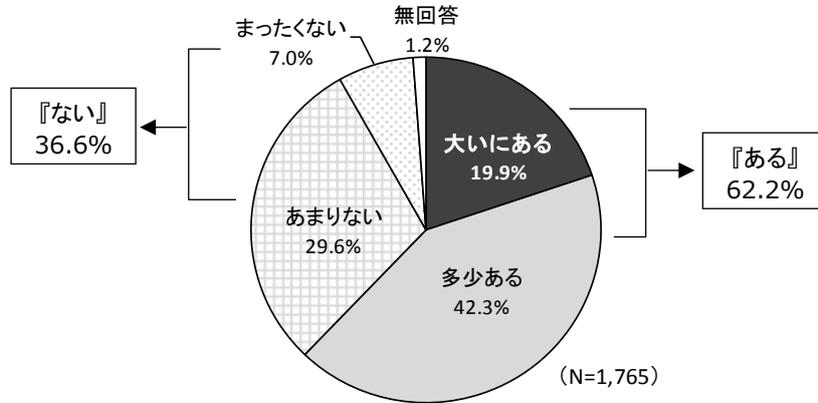
【ブロック別】中央東部、中央南部、西部Aでは「久留米市男女平等推進センター」が4割前後で他のブロックより高い。

		標本数 (票)	勧める相談先 (%)									
			等久 推留 進米 セン 市男 タ女 ー平	ど久 も留 相米 談市 課家 庭子	警 察 ・ 交 番	病 院 ・ 診 療 所	職 場 ・ 学 校	委 民 員 生 委 員 ・ 児 童	専 門 家 の 法 律 の 書	弁 護 士 ・ 司 法 の 書	そ の 他	わ か ら な い
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 ( 946)	34.9 ( 330)	17.7 ( 167)	70.1 ( 663)	5.4 ( 51)	1.8 ( 17)	12.3 ( 116)	20.0 ( 189)	1.3 ( 12)	3.2 ( 30)	1.0 ( 9)
性別	男性	398	24.6	17.3	80.7	3.0	2.5	12.1	21.1	1.3	2.0	1.5
	女性	546	42.1	17.9	62.5	7.1	1.3	12.5	19.0	1.3	4.0	0.5
	回答しない	2	100.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
性別× 年齢別	男性:18～29歳	32	15.6	21.9	84.4	3.1	-	3.1	25.0	-	3.1	6.3
	男性:30歳代	52	17.3	13.5	86.5	-	1.9	1.9	25.0	3.8	5.8	1.9
	男性:40歳代	71	29.6	16.9	84.5	2.8	1.4	4.2	22.5	2.8	-	1.4
	男性:50歳代	76	32.9	17.1	80.3	3.9	5.3	3.9	27.6	-	1.3	-
	男性:60歳代	101	24.8	20.8	76.2	5.9	3.0	17.8	16.8	-	1.0	2.0
	男性:70歳以上	66	19.7	13.6	77.3	-	1.5	33.3	13.6	1.5	3.0	-
	女性:18～29歳	75	42.7	16.0	73.3	14.7	2.7	1.3	13.3	1.3	2.7	-
	女性:30歳代	88	44.3	20.5	59.1	4.5	1.1	4.5	14.8	1.1	4.5	2.3
	女性:40歳代	93	44.1	16.1	58.1	6.5	1.1	2.2	28.0	3.2	4.3	-
	女性:50歳代	117	47.9	18.8	64.1	4.3	1.7	7.7	26.5	1.7	5.1	-
	女性:60歳代	111	40.5	18.0	63.1	7.2	0.9	21.6	14.4	-	4.5	-
	女性:70歳以上	62	27.4	17.7	56.5	8.1	-	45.2	12.9	-	1.6	1.6
	性別:回答しない	2	100.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
ブ ロ ッ ク 別	東部A	64	37.5	17.2	68.8	4.7	3.1	17.2	17.2	-	-	-
	東部B(田主丸)	58	20.7	13.8	74.1	8.6	1.7	12.1	6.9	-	8.6	-
	北部A	90	36.7	14.4	72.2	2.2	2.2	8.9	15.6	-	2.2	2.2
	北部B(北野)	55	34.5	23.6	72.7	1.8	-	14.5	16.4	1.8	-	1.8
	中央東部	129	38.8	19.4	70.5	7.8	0.8	10.9	23.3	3.1	4.7	-
	南東部	88	37.5	13.6	65.9	6.8	2.3	10.2	20.5	1.1	2.3	1.1
	中央部	119	30.3	17.6	73.9	3.4	1.7	8.4	21.8	1.7	5.0	1.7
	中央南部	173	41.0	21.4	67.1	6.9	2.3	11.6	25.4	0.6	2.9	0.6
	南西部	83	32.5	14.5	71.1	7.2	2.4	14.5	21.7	2.4	1.2	-
	西部A(城島)	36	38.9	11.1	72.2	-	-	22.2	16.7	-	2.8	-
西部B(三潁)	51	21.6	21.6	64.7	3.9	2.0	17.6	17.6	2.0	3.9	3.9	

## 2-7 こころの健康

### (1) 不安や悩み、ストレスの状況

問 33 あなたは、ここ1ヵ月くらいの間に、不安や悩み、ストレスを抱えたことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



●ここ1ヵ月くらいの間に、不安や悩み、ストレスを抱えたことがある人は62.2%。

#### ◆属性別特徴

【性別】女性に『ある』が65.5%で男性より7.3ポイント高い。

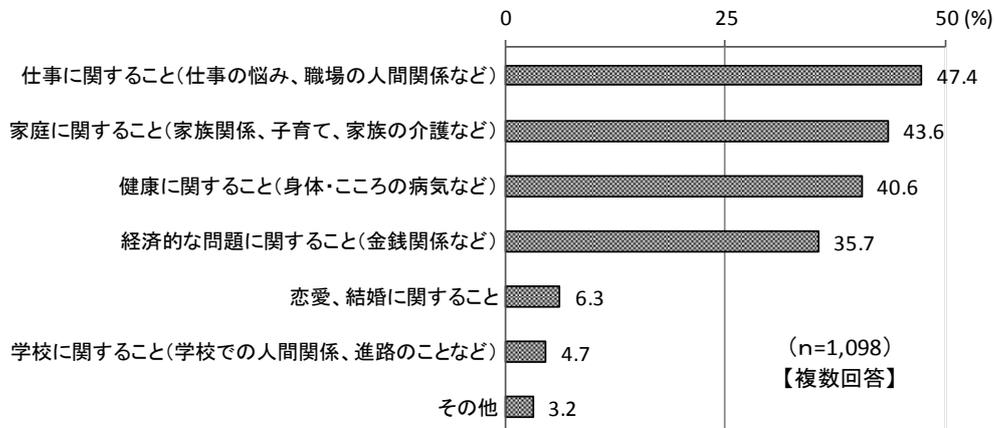
【性別・年齢別】女性40歳代以下は『ある』が7割を超えている。

【ブロック別】南東部では『ある』が7割を超え他のブロックより高い。

	標本数 (票)	ここ1ヵ月間での不安や悩み、ストレスの有無 (%)						
		大いにある	多少ある	あまりない	まったくない	無回答	『ある』	『ない』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	19.9 (351)	42.3 (747)	29.6 (522)	7.0 (124)	1.2 (21)	62.2 (1,098)	36.6 (646)
性別								
男性	805	18.4	39.8	31.7	9.1	1.1	58.2	40.8
女性	955	21.0	44.5	27.9	5.3	1.3	65.5	33.2
回答しない	5	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0
性別×年齢別								
男性:18~29歳	94	23.4	35.1	29.8	11.7	-	58.5	41.5
男性:30歳代	127	26.0	40.9	23.6	9.4	-	66.9	33.0
男性:40歳代	151	20.5	44.4	25.8	6.6	2.6	64.9	32.4
男性:50歳代	144	16.0	47.2	30.6	6.3	-	63.2	36.9
男性:60歳代	171	15.2	35.1	39.8	9.4	0.6	50.3	49.2
男性:70歳以上	118	11.0	33.9	39.0	12.7	3.4	44.9	51.7
女性:18~29歳	140	30.0	40.7	24.3	3.6	1.4	70.7	27.9
女性:30歳代	159	30.2	45.3	22.6	1.9	-	75.5	24.5
女性:40歳代	151	27.8	48.3	21.2	2.0	0.7	76.1	23.2
女性:50歳代	176	15.9	51.1	24.4	8.0	0.6	67.0	32.4
女性:60歳代	200	13.0	40.0	37.5	8.0	1.5	53.0	45.5
女性:70歳以上	129	11.6	41.1	35.7	7.8	3.9	52.7	43.5
性別:回答しない	5	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0
ブロック別								
東部A	125	20.8	37.6	31.2	8.0	2.4	58.4	39.2
東部B(田主丸)	105	19.0	42.9	30.5	7.6	-	61.9	38.1
北部A	171	18.7	42.1	32.7	5.8	0.6	60.8	38.5
北部B(北野)	107	22.4	39.3	30.8	6.5	0.9	61.7	37.3
中央東部	219	26.9	39.3	26.9	6.4	0.5	66.2	33.3
南東部	182	20.3	52.7	22.0	3.8	1.1	73.0	25.8
中央部	224	21.4	42.9	27.7	5.8	2.2	64.3	33.5
中央南部	306	15.4	44.1	30.4	8.2	2.0	59.5	38.6
南西部	155	14.2	48.4	28.4	8.4	0.6	62.6	36.8
西部A(城島)	69	18.8	29.0	37.7	14.5	-	47.8	52.2
西部B(三瀧)	102	22.5	32.4	37.3	6.9	1.0	54.9	44.2

(2) 不安や悩み、ストレスの原因

問 33 付問 **問 33 で 1 または 2 に回答した人に** それほどどのようなことが原因ですか。(あてはまる番号に  
いくつでも○印)



● 「仕事に関する事」が 47.4%で最も高く、「家庭に関する事」「健康に関する事」も 4 割を超えている。

◆属性別特徴

【性別】男性は「仕事に関する事」などが女性より高く、女性は「家庭に関する事」などが男性より高い。

【性別・年齢別】男性 30 歳代は「仕事に関する事」、女性 30 歳代は「家庭に関する事」、男女 60 歳代以上は「健康に関する事」がそれぞれ他の年齢層より高い。

【ブロック別】北部 B は「家庭に関する事」、西部 B は「健康に関する事」、中央東部、中央南部、西部 A、西部 B は「仕事に関する事」がそれぞれ他のブロックより高い。

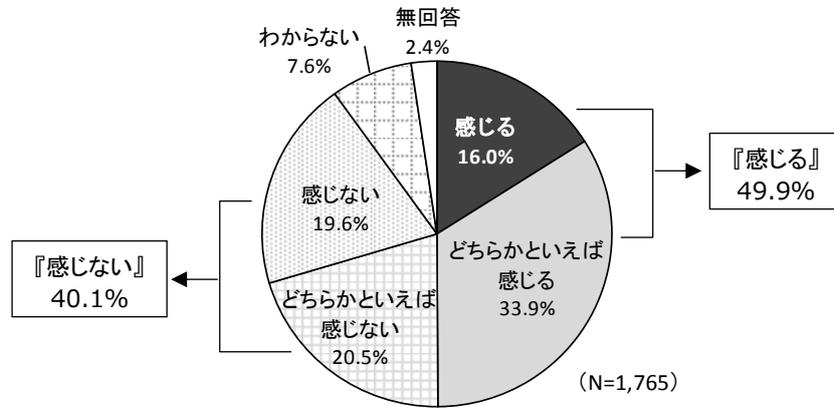
【職業別】農林漁業と家事に専念は「家庭に関する事」、給与所得者は「仕事に関する事」、学生は「学校に関する事」がそれぞれ他の職業より高い。

【同居家族別】就学前の子どもがいる世帯は「家庭に関する事」、65 歳以上の人がいる世帯は「健康に関する事」がそれぞれ他の世帯より高い。

		標本数(票)	不安や悩み、ストレスの原因(%)										
			護 など)	関 係、 子育 て、 家 族 の 介 介	家 庭 に 関 する こ と ( 身 体 )	・ 健 康 に 関 する こ と ( 身 体 )	と 経 済 的 な 問 題 に 関 する こ と ( 金 銭 関 係 な ど)	な の 悩 み 、 職 場 の 人 間 関 係 な ど)	の 仕 事 に 関 する こ と ( 仕 事 )	恋 愛 、 結 婚 に 関 する こ と	と 学 校 に 関 する こ と ( 進 路 の こ と)	学 校 に 関 する こ と ( 学 校 )	そ の 他
全 体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,098)	43.6 ( 479)	40.6 ( 446)	35.7 ( 392)	47.4 ( 520)	6.3 ( 69)	4.7 ( 52)	3.2 ( 35)	0.2 ( 2)			
性別	男性	468	37.8	38.7	36.8	53.4	4.7	4.3	2.6	-			
	女性	626	48.1	42.2	34.8	42.7	7.5	5.1	3.7	0.3			
	回答しない	4	25.0	25.0	50.0	75.0	-	-	-	-			
性別×年齢別	男性:18~29歳	55	14.5	14.5	27.3	60.0	16.4	21.8	3.6	-			
	男性:30歳代	85	41.2	21.2	40.0	80.0	8.2	1.2	3.5	-			
	男性:40歳代	98	44.9	31.6	35.7	68.4	5.1	4.1	1.0	-			
	男性:50歳代	91	41.8	36.3	41.8	58.2	-	2.2	2.2	-			
	男性:60歳代	86	38.4	59.3	44.2	27.9	1.2	-	2.3	-			
	男性:70歳以上	53	35.8	75.5	22.6	9.4	-	1.9	3.8	-			
	女性:18~29歳	99	30.3	23.2	30.3	68.7	24.2	12.1	1.0	-			
	女性:30歳代	120	65.8	32.5	40.8	45.0	12.5	5.8	3.3	-			
	女性:40歳代	115	46.1	34.8	34.8	53.0	5.2	9.6	7.0	-			
	女性:50歳代	118	52.5	43.2	39.0	47.5	0.8	1.7	2.5	-			
	女性:60歳代	106	50.9	58.5	31.1	23.6	-	-	4.7	-			
女性:70歳以上	68	33.8	72.1	29.4	4.4	1.5	-	2.9	2.9				
性別:回答しない	4	25.0	25.0	50.0	75.0	-	-	-	-				
ブロック別	東部A	73	37.0	43.8	30.1	43.8	2.7	4.1	4.1	-			
	東部B(田主丸)	65	41.5	35.4	29.2	47.7	4.6	6.2	3.1	-			
	北部A	104	40.4	38.5	30.8	43.3	6.7	1.0	4.8	1.0			
	北部B(北野)	66	50.0	34.8	37.9	40.9	3.0	3.0	3.0	-			
	中央東部	145	46.9	41.4	45.5	51.0	10.3	3.4	2.1	-			
	南東部	133	45.1	44.4	39.1	44.4	4.5	6.0	3.0	-			
	中央部	144	41.7	38.9	31.9	45.1	6.9	6.3	4.2	-			
	中央南部	182	44.5	42.3	41.2	52.2	7.1	4.9	3.8	-			
	南西部	97	46.4	39.2	26.8	45.4	5.2	7.2	3.1	-			
西部A(城島)	33	36.4	33.3	30.3	54.5	-	3.0	-	3.0			3.0	
西部B(三瀧)	56	42.9	48.2	33.9	53.6	10.7	5.4	-	-				
職業別	農林漁業	24	62.5	45.8	45.8	25.0	-	-	4.2	-			
	自営業	106	42.5	50.9	42.5	43.4	4.7	0.9	4.7	-			
	給与所得者(常勤)	453	37.3	26.0	30.0	73.3	8.8	1.8	2.2	-			
	パート・アルバイト(学生は除く)	204	51.5	45.1	44.6	47.1	4.9	6.9	3.4	-			
	学生	27	14.8	14.8	33.3	11.1	18.5	81.5	7.4	-			
	家事に専念	111	61.3	53.2	30.6	7.2	1.8	3.6	3.6	-			
	無職	159	42.8	66.7	38.4	12.6	3.8	1.9	3.1	1.3			
	その他	7	57.1	14.3	42.9	57.1	-	-	-	-			
無回答	7	14.3	14.3	28.6	71.4	14.3	-	14.3	-				
同居家族別	世帯の中に就学前の子どもがいる	161	67.7	23.6	36.0	50.9	1.2	5.0	1.9	-			
	世帯の中に小学生がいる	163	59.5	23.9	39.3	50.9	4.3	9.8	4.9	-			
	世帯の中に中学生がいる	93	59.1	23.7	41.9	47.3	2.2	15.1	1.1	-			
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	113	52.2	33.6	32.7	46.0	8.8	9.7	3.5	-			
	世帯の中に65歳以上の人がいる	459	44.0	50.8	31.6	33.3	4.6	2.2	3.7	0.4			
	世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる(本人を含む)	150	54.0	46.0	39.3	37.3	9.3	6.7	2.0	-			
	以上にあてはまる人はいない	313	29.1	39.0	38.7	63.9	9.9	4.2	2.2	-			
無回答	3	66.7	-	33.3	66.7	-	-	-	-				

(3) 不安や悩み、ストレスを相談することへのためらい

問 34 あなたが、不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰かに相談したり助けを求めたりすることに、ためらいを感じますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



●不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰かに相談したり助けを求めることにためらいを『感じる』は 49.9%。

◆属性別特徴

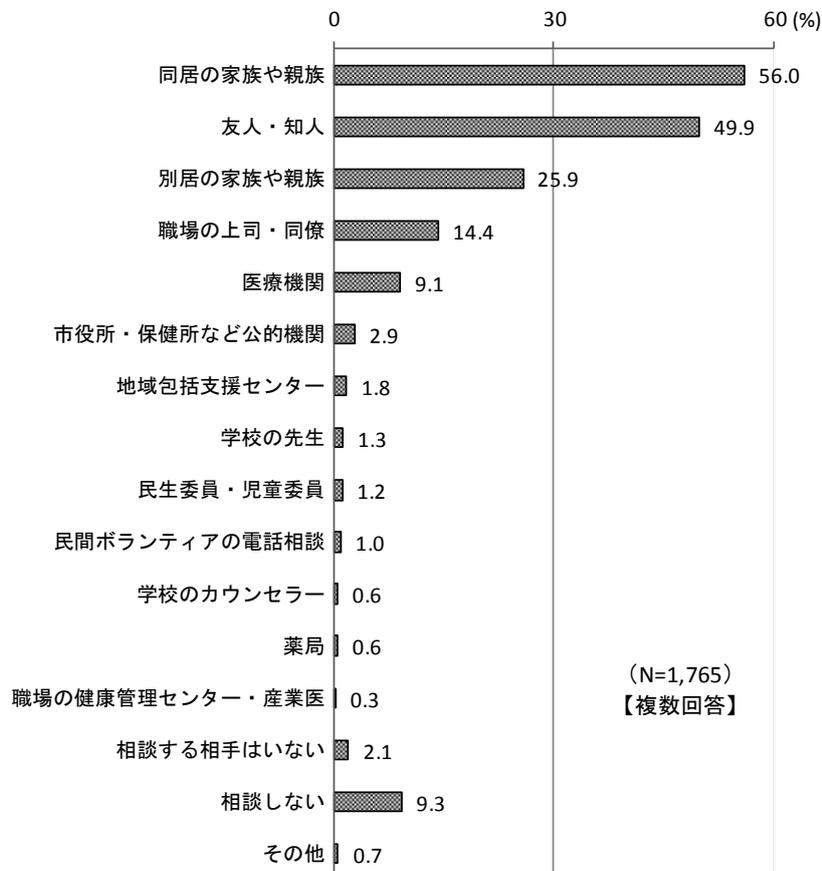
【性別】男性は『感じる』が 52.9%で女性より 5.6 ポイント高い。

【性別・年齢別】男性 50 歳代は『感じる』が 6 割を超えている。女性 60 歳代以上は『感じる』が 5 割を超えている。

	標本数 (票)	誰かに相談することにより感じるか (%)							
		感じる	えど ばちら かとい	えど ばちら かとい	感じ ない	わ か ら な い	無 回 答	『感じる』	『感じない』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	16.0 ( 283)	<b>33.9</b> ( 598)	20.5 ( 362)	19.6 ( 346)	7.6 ( 134)	2.4 ( 42)	<b>49.9</b> (881)	<b>40.1</b> (708)
性別									
男性	805	17.9	<b>35.0</b>	18.4	16.5	9.3	2.9	<b>52.9</b>	<b>34.9</b>
女性	955	14.3	<b>33.0</b>	22.2	22.3	6.2	2.0	<b>47.3</b>	<b>44.5</b>
回答しない	5	<b>40.0</b>	20.0	<b>40.0</b>	-	-	-	<b>60.0</b>	<b>40.0</b>
性別×年齢別									
男性:18~29歳	94	21.3	19.1	21.3	<b>26.6</b>	8.5	3.2	<b>40.4</b>	<b>47.9</b>
男性:30歳代	127	12.6	<b>40.2</b>	16.5	21.3	9.4	-	<b>52.8</b>	<b>37.8</b>
男性:40歳代	151	14.6	<b>35.1</b>	23.2	12.6	9.3	5.3	<b>49.7</b>	<b>35.8</b>
男性:50歳代	144	18.8	<b>46.5</b>	12.5	16.7	3.5	2.1	<b>65.3</b>	<b>29.2</b>
男性:60歳代	171	20.5	<b>32.7</b>	21.1	14.0	10.5	1.2	<b>53.2</b>	<b>35.1</b>
男性:70歳以上	118	20.3	<b>31.4</b>	15.3	11.9	15.3	5.9	<b>51.7</b>	<b>27.2</b>
女性:18~29歳	140	13.6	<b>29.3</b>	21.4	<b>29.3</b>	5.7	0.7	<b>42.9</b>	<b>50.7</b>
女性:30歳代	159	15.1	26.4	<b>27.7</b>	27.0	3.8	-	<b>41.5</b>	<b>54.7</b>
女性:40歳代	151	15.2	<b>31.8</b>	25.2	20.5	3.3	4.0	<b>47.0</b>	<b>45.7</b>
女性:50歳代	176	9.1	<b>34.7</b>	24.4	27.3	4.0	0.6	<b>43.8</b>	<b>51.7</b>
女性:60歳代	200	14.5	<b>40.0</b>	20.5	14.0	7.5	3.5	<b>54.5</b>	<b>34.5</b>
女性:70歳以上	129	20.2	<b>33.3</b>	12.4	17.1	14.0	3.1	<b>53.5</b>	<b>29.5</b>
性別:回答しない	5	<b>40.0</b>	20.0	<b>40.0</b>	-	-	-	<b>60.0</b>	<b>40.0</b>
ブロック別									
東部A	125	14.4	<b>32.0</b>	22.4	24.8	3.2	3.2	<b>46.4</b>	<b>47.2</b>
東部B(田主丸)	105	18.1	<b>31.4</b>	18.1	17.1	14.3	1.0	<b>49.5</b>	<b>35.2</b>
北部A	171	13.5	<b>37.4</b>	18.7	18.7	8.2	3.5	<b>50.9</b>	<b>37.4</b>
北部B(北野)	107	16.8	<b>29.9</b>	20.6	20.6	8.4	3.7	<b>46.7</b>	<b>41.2</b>
中央東部	219	21.0	<b>32.0</b>	22.4	16.4	5.5	2.7	<b>53.0</b>	<b>38.8</b>
南東部	182	15.4	<b>37.9</b>	18.1	17.0	9.9	1.6	<b>53.3</b>	<b>35.1</b>
中央部	224	14.7	<b>38.8</b>	20.5	18.3	6.3	1.3	<b>53.5</b>	<b>38.8</b>
中央南部	306	17.3	<b>31.7</b>	20.3	20.3	7.2	3.3	<b>49.0</b>	<b>40.6</b>
南西部	155	9.7	<b>36.1</b>	22.6	20.6	9.7	1.3	<b>45.8</b>	<b>43.2</b>
西部A(城島)	69	17.4	<b>27.5</b>	18.8	21.7	11.6	2.9	<b>44.9</b>	<b>40.5</b>
西部B(三瀨)	102	17.6	<b>30.4</b>	22.5	25.5	2.9	1.0	<b>48.0</b>	<b>48.0</b>

(4) 不安や悩み、ストレスの相談先

問 35 あなたが、不安や悩み、ストレスを抱えた場合、誰に相談しますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



● 「同居の家族や親族」が 56.0%で最も高く、「友人・知人」が 49.9%で2位。

◆属性別特徴

【性別】女性「別居の家族や親族」「友人・知人」などが男性より高い。男性は「相談しない」が 13.7%で女性より8ポイント高い。

【性別・年齢別】男性18～29歳と女性50歳代以下は「友人・知人」、女性30歳代は「別居の家族や親族」、男女60歳代以上は「医療機関」がそれぞれ他の年齢層より高い。

【同居家族別】小学生以下の子どもがいる世帯は「同居の家族や親族」「別居の家族や親族」、65歳以上の人がいる世帯と障害者手帳所持者がいる世帯は「医療機関」がそれぞれ他の世帯より高い。

	標本数(票)	不安や悩み、ストレスの相談先(%)																	
		同居の家族や親族	別居の家族や親族	友人・知人	学校の先生	学校のカウンセラー	職場の上司・同僚	・職場の健康管理センター	医療機関	薬局	地域包括支援センター	相談	民間ボランティアの電話	民生委員・児童委員	機関	市役所・保健所など公的	相談する相手はいない	相談しない	その他
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,765)	56.0 (989)	25.9 (458)	49.9 (880)	1.3 (23)	0.6 (10)	14.4 (255)	0.3 (6)	9.1 (160)	0.6 (10)	1.8 (32)	1.0 (17)	1.2 (21)	2.9 (52)	2.1 (37)	9.3 (165)	0.7 (13)	1.0 (18)	
性別																			
男性	805	55.2	14.5	39.9	0.6	0.1	14.9	0.4	9.8	0.5	1.6	0.9	1.4	3.1	2.2	13.7	0.6	1.2	
女性	955	56.9	35.7	58.2	1.9	0.9	14.1	0.3	8.5	0.6	2.0	1.0	1.0	2.8	2.0	5.7	0.8	0.8	
回答しない	5	40.0	-	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	
性別×年齢別																			
男性:18~29歳	94	53.2	14.9	68.1	4.3	-	14.9	-	1.1	1.1	1.1	-	-	2.1	-	8.5	-	-	
男性:30歳代	127	52.8	16.5	52.0	-	-	26.8	-	3.1	-	0.8	-	-	2.4	2.4	12.6	0.8	-	
男性:40歳代	151	58.9	13.9	40.4	-	-	24.5	-	6.6	-	-	-	0.7	0.7	-	10.6	0.7	2.6	
男性:50歳代	144	52.1	11.8	38.9	0.7	0.7	16.0	2.1	8.3	1.4	-	0.7	-	2.1	2.8	16.7	0.7	0.7	
男性:60歳代	171	58.5	13.5	28.7	-	-	7.0	-	17.0	-	2.9	2.3	1.8	7.0	2.3	17.0	1.2	-	
男性:70歳以上	118	53.4	17.8	21.2	-	-	-	-	19.5	0.8	5.1	1.7	5.9	3.4	5.9	14.4	-	4.2	
女性:18~29歳	140	56.4	24.3	76.4	1.4	-	24.3	0.7	4.3	-	-	0.7	-	0.7	2.9	4.3	-	0.7	
女性:30歳代	159	65.4	50.9	65.4	1.9	1.3	23.9	-	7.5	-	1.3	-	-	3.1	2.5	4.4	-	-	
女性:40歳代	151	53.0	39.7	68.9	5.3	2.0	21.9	1.3	5.3	-	0.7	-	-	2.0	1.3	6.0	1.3	0.7	
女性:50歳代	176	60.2	29.5	65.9	2.3	1.1	14.2	-	7.4	1.1	0.6	1.1	-	2.3	0.6	5.7	1.1	0.6	
女性:60歳代	200	53.5	34.5	41.0	0.5	1.0	2.0	-	11.5	1.5	4.0	2.5	2.5	4.0	2.5	9.0	1.5	0.5	
女性:70歳以上	129	51.9	34.9	33.3	-	-	0.8	-	14.7	0.8	5.4	1.6	3.9	4.7	2.3	3.1	0.8	3.1	
性別:回答しない	5	40.0	-	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	
同居家族別																			
世帯の中に就学前の子どもがいる	245	69.0	38.4	57.1	0.4	0.4	20.0	-	2.9	-	0.8	0.8	0.4	2.9	2.4	5.7	0.8	1.6	
世帯の中に小学生がいる	246	66.3	31.7	52.0	4.1	2.4	22.4	0.4	3.3	-	0.4	0.4	-	1.6	1.2	7.7	0.4	0.8	
世帯の中に中学生がいる	146	58.9	24.0	56.8	6.2	2.7	20.5	-	7.5	-	-	1.4	0.7	4.1	2.7	6.8	2.1	0.7	
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	167	61.1	20.4	58.7	3.6	0.6	16.8	0.6	6.6	-	0.6	1.2	1.2	1.8	0.6	10.8	-	-	
世帯の中に65歳以上の人がある	819	55.7	22.3	42.1	0.5	0.4	7.8	0.2	12.1	0.7	3.1	1.3	2.6	3.7	2.3	9.9	0.5	1.5	
世帯の中に障害者手帳を持っている人がある(本人を含む)	222	54.5	19.8	45.0	2.3	-	8.1	-	16.2	0.5	4.1	1.8	1.8	6.8	5.0	9.9	0.5	0.5	
以上にあてはまる人はいない	482	50.4	25.3	56.6	1.0	-	18.3	0.4	7.3	0.8	1.0	0.4	-	1.9	2.1	10.0	1.0	0.8	
無回答	7	57.1	14.3	28.6	-	-	14.3	-	28.6	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	

## 考 察 — 安全安心のまちづくり（セーフコミュニティ） —

### ●安全安心のまちづくりへの市民ニーズは高い

久留米市は、平成 25 年 12 月にセーフコミュニティ国際認証を取得し「安全安心のまちづくり」に取り組んでいるが、このことについて『知っている』と回答したのは 26.6%であった。質問のしかたが異なるため単純に比較はできないが、平成 26 年調査でのセーフコミュニティの認知度が 33.3%であったことを考えると、久留米市におけるセーフコミュニティに関する取り組みへの認知が高まっているとはいえない。しかし、「安全安心のまちづくりを市と地域の協働で進めていくことが必要だと思うか」という設問に対しては、『思う』が 86.2%に上っており、セーフコミュニティという言葉は知らなくても、地域で安全安心のまちづくりを進めることの必要性を感じている人は多い。

### ●地域で主体的に安全安心の向上を図る取り組みを

けがや事故、犯罪、災害等に対する不安感を平成 26 年調査と比較すると、犯罪への不安感「不安を感じない」割合が増えている一方で、けがや事故と災害に対する不安を感じる割合が 5 ポイントほど増加している。また、ここ 3 年くらいでの不安感の変化は、けがや事故、犯罪については平成 26 年調査とほぼ変わらないが、災害への「不安感が高まった」が 4.3 ポイント増加している。さらに、ふだんの生活の中で不安を感じることを具体的にたずねた設問では、「地震や大雨などの災害」が、平成 26 年調査に比べて「不安に思うこと」で 9.2 ポイント、「特に不安に思うこと」では 15.7 ポイントも増加している。これは、平成 28 年の熊本地震の際に久留米市内でも被害が出たことに加え、今回調査では実査期間中に九州北部豪雨が発生したことが、災害への不安感に少なからず影響したのではないかと推測される。

災害に対する不安感の変化は、実際の行動の変化につながっているだろうか。まず、水や食料の備蓄に関しては、水の備蓄をしているという回答がやや増加したものの、「何もしていない」との回答が 5 割を超えており、平成 26 年調査から大きな変化はみられない。一方、家庭で行っている災害対策として、「家族との連絡方法の確認」「非常持ち出し袋の用意」をしているとの回答が 5～6 ポイント程度増加し、「特にしていない」が約 6 ポイント減少した。また、避難所の場所の認知度も、自宅近くの避難所が約 7 ポイント、仕事場や学校近くの避難所が約 5 ポイント増加している。わずかではあるが、行動面でも変化がうかがえる。

災害への不安感別に水や食料の備蓄の状況を見ると、不安を感じている人の方が「何もしていない」との回答がやや低くなっており、不安感の高まりが災害対策につながっている面もあると考えられる。また、災害については約 5 割、けがや事故、犯罪については 6 割前後の人

●災害への不安感別にみた水食料の備蓄状況

		(%)					
水		1 日 分	2 日 分	以 3 上 日 分	い 何 な も い し て	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,765)	17.6 (310)	15.0 (264)	12.1 (214)	54.4 (960)	1.0 (17)
不安 感 別	不安を感じる	286	17.1	15.0	15.7	51.0	1.0
	やや不安を感じる	639	20.7	15.8	11.6	50.9	1.1
	あまり不安を感じない	661	16.0	14.5	10.0	58.9	0.6
	不安を感じない	127	11.0	13.4	17.3	58.3	-
	無回答	52	17.3	13.5	13.5	50.0	5.8
食料		1 日 分	2 日 分	以 3 上 日 分	い 何 な も い し て	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,765)	16.0 (282)	17.7 (313)	14.3 (252)	50.4 (889)	1.6 (29)
不安 感 別	不安を感じる	286	17.1	17.1	17.8	46.5	1.4
	やや不安を感じる	639	17.7	19.7	13.6	47.3	1.7
	あまり不安を感じない	661	15.7	16.2	12.6	54.5	1.1
	不安を感じない	127	7.9	18.1	17.3	55.1	1.6
	無回答	52	11.5	15.4	17.3	46.2	9.6

が不安感を抱いている一方で、久留米市は安全で安心して暮らせると『思う』人が約4分の3に上っている(第1章)。したがって、けがや事故、災害などへの個別具体的な不安感を低減させることで、久留米市全体としての安心感をさらに高めることが期待できるので、地域で主体的に安全安心の向上を図るセーフコミュニティの取り組みをさらに推進することが望まれる。

### ●歩行者、自転車、自動車が安全に共存できる啓発の促進を

自転車の交通安全に関し、車道の左側通行のルールを知っている人は95.6%、実際に自転車で車道の左側を通行している人は自転車利用者の85.3%に上り、自転車の基本的なルールについては浸透しているといえる。

一方、久留米市の道路は自転車の利用にとって安全だと思うかという問いに対しては、『思わない』が7割を超えており、その理由としては「走る部分の道幅が狭い」が突出している。また、小中学生の子どもがいる人で「走る部分の道幅が狭い」、中学生以上の子どもがいる人で「路面に凹凸などがある」「車道を走っていてバイクや自動車と接触しそうになる」「歩道を走っていて歩行者や他の自転車と接触しそうになる」などが高く、小学生以上の子どもがいる人で道路の安全に不安を感じている人は、様々な要因からそう感じていることがうかがえる。また、ふだんの生活で不安を感じることをたずねた問21でも、世帯の中に小学生から18歳未満の子どもがいる人で「自転車による交通事故」が高くなっている。小中高生は一般的に自転車を利用する機会が多く、この年代の子どもがいる人の不安が高くなっていると思われる。

安全に自転車を利用するための取り組みとしては、「自転車が安全に走れる道路の整備」が突出しており、次に「自転車を安全に止められる駐輪場の整備」となっている。優先順位を整理して、維持・補修などの機会を捉えた整備を図りながら、マナー向上等の啓発を推進することが当面は重要であろう。今回調査では、自転車の利用者より非利用者で「自転車に関する安全教室の実施」「イベントや街頭などでの自転車に関する交通ルールやマナーの啓発」が高くなっていた。久留米市では平成27年に「久留米市自転車利用促進計画」を策定し、「自転車が似合うまちづくり」を推進していることもあり、自転車が歩行者、自動車等と安全に共存できるよう、小中高生なども含めた自転車利用者の意識向上、マナー啓発に向けたさらなる取り組みが必要と考えられる。

### ●児童虐待およびDV防止の啓発や情報提供の推進を

児童虐待およびDV(ドメスティック・バイオレンス)に関しては、どのようなことがそれにあたるかの認知度は9割を超えている。

児童虐待防止法では虐待が疑われる児童を発見した時点で通報義務が生じるが、児童虐待かもしれないと思ったときに通報するかどうかという設問では、「必ず通報すると思う」は2割強にとどまる。また、通報先としては、「警察」が64.9%で最も高く、児童虐待防止法で定める通報先にあたる「久留米市家庭子ども相談課」は34.9%、「児童相談所」が31.6%、「民生委員・児童委員」が14.8%、「児童相談所全国共通ダイヤル【189】」が11.2%となっている。

DVについてみると、身近な人がDVを受けている場合にどうするかという設問に対しては、「相談窓口に行くことを勧める」が5割超で最も高い。これは、DVへの対応としては適切だが、勧める相談先としてはやはり「警察・交番」が70.1%で突出している。

通報先、相談先として「警察」という回答が多いのは、通報・相談するほどの児童虐待やDVには身体的暴力をとまなうというイメージをもつ人が多いためではないかと推測される。また、警察への通報・相談は、一般的に他の相談窓口等比べて心理的障壁が高くなると考えられるため、警察を第一義的な通報・相談先として想定することは、事態の深刻化を招く可能性も否定できない。今回の調査では、通報先や相談をすすめる先として「男女平等推進センター」や「家庭子ども相談課」など久留米市の機関も上位となっている。

児童虐待やDVは早期の発見と対応が重要であり、これらの専門機関にできるだけ早い段階でつなげられるためにも、さらなる啓発活動や機関の周知に取り組むことが望まれる。

### ●ゲートキーパー養成など身近に「こころの健康」の相談ができる環境づくりを

こころの健康に関しては、6割超の人が調査実施期間前の1か月ほどの間に、不安や悩み、ストレスを抱えたことがあると回答している。不安や悩みの原因は、全体では1位は「仕事に関する事」、2位は「家庭に関する事」となっている。特に、「仕事に関する事」では、50歳代までの男性や18～29歳の女性、給与所得者、「家庭に関する事」では、30歳代女性や就学前の子どもがいる人、「健康に関する事」では、60歳代以上の人が高くなっており、性別や年齢、職業、ライフステージ等により様々である。また、複合的な要因により不安を抱えている人も多いことがうかがえる。

不安や悩み、ストレスが高じると、メンタル不調や体調不良など深刻な状況につながる可能性もあり、一人で抱え込むのではなく誰かに相談することが望ましい。しかし、今回調査では約半数の人が不安や悩みを誰かに相談することにためらいを感じると回答しており、特に50歳代男性で高い。また、ためらいを「感じる」と回答した人の3割弱が、不安や悩みがあっても「相談しない」と回答している。そのため、身近な人が変化に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげ見守る「ゲートキーパー」の存在が重要となる。久留米市ではこれまでもゲートキーパー養成に取り組んできたが、その取り組みをさらに推進することが望まれる。また、心の健康に関する設問について家族構成別にみると、単身者は、相談することにためらいを感じる割合、悩みを「相談しない」とする割合が相対的に高い。したがって、ゲートキーパーの取り組みを、地域や職場においても広めていくとともに、相談窓口の充実やその周知をより一層推進することが必要である。

●「安全安心のまちづくり」の認知に「広報くるめ」の効果が見られる

「安全安心のまちづくり」について、「広報くるめ」の閲読状況との関連をみると、「安全安心のまちづくりの取り組み」「くるめ見守りネットワークの取り組み」「地域での安全安心のまちづくり活動」「地域での自主防災組織の活動」などは、「広報くるめ」を「読む」人で認知度が高かった。また、児童虐待やDVにあたる行為についても、「読む」人の方が

●「広報くるめ」の閲読状況別にみた安全への取り組みの認知 (%)

	(票本数)	安心安全のまちづくりへの取り組み		くるめ見守りネットワークの取り組み		地域での安全安心のまちづくり活動		自主防災組織の活動	
		知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない
全体	100.0 (1,765)	26.7 ( 471)	72.5 (1,279)	45.5 ( 803)	53.9 ( 951)	65.1 (1,149)	33.9 ( 598)	40.3 ( 711)	58.7 (1,036)
『読む』	1,202	32.6	66.3	53.8	45.4	72.5	26.5	47.2	51.9
『読まない』	544	13.4	86.4	27.0	72.8	49.4	49.4	25.4	73.5

認識していた。さらに、児童虐待やDVに気づいた時の対応や通報・相談先についても、望ましい対応や通報・相談先の回答率が高かった。これらのことから、久留米市や地域の取り組み、身近な相談対応窓口等の認知を高めることに対しては、「広報くるめ」による効果がみられるとよいため。

●「広報くるめ」の閲読状況別にみた児童虐待やDVにあたる行為の認知 (%)

	(票本数)	児童虐待にあたる行為の認知			DVにあたる行為の認知		
		知っている	知っている一部は	知らない	知っている	知っている一部は	知らない
全体	100.0 (1,765)	62.2 (1,097)	30.4 ( 536)	6.1 ( 108)	59.9 (1,057)	32.9 ( 581)	4.4 ( 77)
『読む』	1,202	64.5	28.7	5.7	62.7	30.5	3.8
『読まない』	544	57.4	33.6	7.2	54.4	37.7	5.3

また、水や食料の備蓄や災害に備えた対策等も、「読む」人の方が行っている傾向がみられ、災害対策についての「広報くるめ」での啓発が、実際の行動にもつながっている可能性も示唆されている。

●「広報くるめ」の閲読状況別にみた水や食料の備蓄、災害対策の状況 (%)

	(票本数)	水の備蓄		食料の備蓄		災害に備えた対策	
		している	していない	している	していない	している	していない
全体	100.0 (1,765)	44.6 ( 788)	54.4 ( 960)	48.0 ( 847)	50.4 ( 889)	61.0 (1,076)	37.9 ( 669)
『読む』	1,202	48.1	50.7	52.4	45.8	65.7	33.4
『読まない』	544	36.9	62.5	38.1	60.7	50.4	47.8

「広報くるめ」は低い年齢層で閲読率が低い傾向にあり、閲読状況が年代によって差がある。そのため、市民の自治会加入の促進とあわせて、「広報くるめ」配布方法の多様化、「広報くるめ」ウェブ版へのアクセス向上等、現在閲読率の低い層の閲読率を高めることにより様々な情報の周知徹底が期待できる。

(分析者 武藤桐子)